

砲兵操典
練徒之步部教

特65-741
1200800265676

特
7



始



特65
741
WE 20852
72



砲兵操典

徒步教練目次

第一部

徒步新兵教練

總則

新兵教練ノ區分

第一章 各個教練

總則

目次



一
丁

全
丁

四

全

全

第一教

不動ノ姿勢

休憩

頭首右左ノ運動

柔軟體操

第二教

轉回

背轉

二

六

七

八

九

全

十

丁

丁

丁

丁

丁

第三教

早歩

退歩

驅歩

足踏

踏替

行進間ノ背轉

第二章 成列教練

十一丁

十五丁

十六丁

十九丁

二十丁

二十一丁

二十三丁

目次

三

總則

二十三丁

第一教

整頓

二十五丁

第二教

前面及背面ニ於ル正面

行進、駐立

三十二丁

斜行進

三十五丁

靜止間ノ方向變換

四十二丁

第三教

行進間ノ方向變換

四十四丁

解散及集合

四十八丁

側面行進

四十九丁

行進間伍ノ分解及重複

五十二丁

縱隊ノ駐立及正面

五十三丁

伍々方向變換

五十六丁

行進間ノ轉回

五十八丁

一列ヨリ二列ニ及ヒ二列

ヨリ一列ニ移ル法

六十六丁

第三章 砲兵刀操法

六十三丁

前列兵ノ姿勢ニテ刀ヲ拔

ク法

六十五丁

全 刀ヲ納ムル法

六十六丁

後列兵ノ姿勢ニテ刀ヲ拔

ク法

六十七丁

第二部

目次

全 刀ヲ納ムル法

六十九丁

刀ヲ捧クル法

七十丁

刀ヲ肩ニ執ル法

全

刀ヲ腕ニ執ル法

七十一丁

刀ヲ肩ニ執ル法

七十二丁

刀ヲ構ル法

七十三丁

刀ヲ肩ニ執ル法

七十四丁

一 徒歩中隊教練

八

總則

全

中隊教練ノ區分

八十二丁

第一章 小隊教練

全

背轉

全

整頓

八十四丁

列ノ開閉

八十五丁

前面及ヒ背面ニ於ル正面

第二章

中隊教練

目次

九

行進

八十七丁

斜行進

九十一丁

駐立、方向變換、側面行進、

側面行進ニ屬スル諸運動、

二列ヨリ一列ニ及ヒ一列

ヨリ二列ニ移ル法

九十二丁

解散及ヒ集合

九十三丁

第二章

中隊教練

九十四丁

第一教

背轉	九十四丁
整頓	九十五丁
列ノ開閉	九十七丁
前面及ヒ背面ニ於ケル正 面行進	九十九丁
斜行進、方向變換	百二丁
駐立	百三丁

十

第二教

側面行進、側面行進ニ屬 スル諸運動	百四丁
小隊縱隊	百五丁
横隊ヨリ小隊縱隊ニ移ル 法	全
前面及ヒ背面行進	百七丁
方向變換	百九丁

目次

十一

駐立	百十丁
側面行進	百十一丁
小隊縦隊ヨリ横隊及ヒ側	
面隊形ニ移ル法	百十三丁
第三教	
途上縦隊	百十六丁
第三部	
徒歩中隊聯合教練	百二十三丁

總則	
第一教	
横隊々形	百二十六丁
背轉	百二十九丁
整頓	百三十丁
列ノ開閉	百三十四丁
横隊ノ行進及ヒ駐立	百三十六丁
側面行進	百三十八丁

伍々方向變換 百三十九丁

駐立 全

第二教

小隊縱隊々形 百四十丁

橫隊ヨリ小隊縱隊ニ移ル

法 百四十二丁

背轉 百四十三丁

行進、駐立 百四十四丁

方向變換 百四十七丁

側面行進 百四十八丁

小隊縱隊ヨリ橫隊ニ移ル

法 百四十九丁

砲兵操典

徒歩教練

第一部

徒歩新兵教練

總則

第一條 此教練ハ兵卒各個ノ教練及ヒ成列ノ教練ヲ以テ目的トスルモノニシテ實ニ兵卒ニ授クル軍事教練ノ一基礎ナリ故ニ此教練ハ綿密ニ意ヲ用ヒテ教授スルヲ要ス

教官各運動ヲ説明スルニハ簡易ニシテ明瞭ナル言語ヲ用ヒ諸運

新兵教練



動ハ皆親カテ行フテ摸範ト説明トヲ併セ授ケ兵卒ヲシテ示サレタル
姿勢ヲ自カラ執リ得ルニ慣習セシメ愚鈍ニシテ止ムヲ得サル者ニア
ラサルヨリハ決シテ手ヲ下シテ其姿勢ヲ修正スルヲ勿レ又教官ハ始
終其音聲ヲ活潑ニシテ兵卒ノ注意ヲ醒覺シ同シ運動ヲ長ク行ハシム
ルヲナク且ツ兵卒ヲシテ齊整ニ運動セシメント欲スルハ宜シク漸チ
以テスヘシト雖モ其誤リハ此少ト雖モ決シテ之ヲ等閑ニ附ス可ラス
又教官ハ常ニ儼正ノ威容ヲ執ルヲ要ス而シテ第二章以上ノ教練
ニ在テハ刀ヲ肩ニス

第二條

號令ニ二種アリ一ヲ豫令ト云ヒ一ヲ動令ト云フ

豫令ハ音聲高クシテ明瞭ニ發唱シ且ツ最後ノ一音ヲ少シク長ク
ス可シ

動令ハ短簡快活ニ發唱ス可シ又教官ハ豫令ト動令トノ間ニ適宜
ノ時間ヲ存ス可シ

此教練ニ従事スル下士或ハ上等兵ハ之ヲ名ケテ教官ト云フ

第二條

總テ新兵教練中ノ諸規則及ヒ諸注意ハ教官之ヲ了得
シ能ク其主意ヲ體認シ兵卒ヲシテ其意義ヲ會得セシムルヲ勉ム可シ

靜肅ト沈着トハ兵隊ノ順序ヲ維持スルノ第一要事タルヲ以テ教
官ハ常ニ兵卒ヲシテ之ニ慣習セシムルヲ求メ且ツ己レ其摸範ト

ナルヘシ

新兵教練ノ區分

第四條

ト爲ス

此教練ヲ分テ三章トシ又第一第二章ヲ分テ各三教

第一章ニハ各個教練ヲ載セ第二章ニハ成列教練第三章ニハ砲兵
刀操法ヲ載ス

第一章 各個教練

總則

第五條

第一章ヲ教ユルニハ同時ニ教授スヘキ兵卒ノ數成

ヘク寡少ナルヲ可トス諸兵卒ハ身幹ノ長短ニ從テ一列ニ竝ヒ且
ツ其右臂ハ右隣兵肘ヲ張り爪及ヒ掌ヲ後ニ向ケ左拳ヲ臑骨ノ上
ニ當テタル時此隣兵ノ左肘ニ觸ル、如ク位置ス此ノ如クスレハ
每兵互ニ十五珊米ノ間隔ヲ存スルヲ得
各兵卒ニハ常ニ右ヨリ左ニ番號ヲ附ス背面向ヲ爲シタルキモ兵
卒ノ番號ハ前面向ノ時ニ同シ故ニ此時ノ列ハ一時左ヨリ右ニ至
ル番號ヲ有ツ
第一教ハ刀ヲ帶ヒス第二教及ヒ第三教ハ始メニ刀ヲ帶ヒヌシテ
行ヒ次ニ之ヲ帶ヒテ行フ

各個教練

第六條

各號令ニテ行フ動作ハ皆一節ヲ以テス然レ兵卒チシテ明カニ其作法ヲ會得セシムル爲メ之ヲ分テ數舉動ト爲ス最初ノ演習ニ在テハ號令ノ最後ノ一音ニテ活潑ニ各節ノ第一舉動ヲ行ヒ次ニ「二」「三」等ノ號令ニテ其余ノ舉動ヲ行フ而シテ兵卒熟練スルニ至レハ「二」「三」等ノ舉動ヲ令スルコトナシ

第一教

不動ノ姿勢

第七條

兵卒チシテ不動ノ姿勢ヲ取ラシムル爲メ教官左ノ令ヲ下ス氣ヲ着ケ

此令ニテ兵卒ハ兩踵チ一線上ニ揃ヘ且ツ其人ノ骨格ニ應シテ成ルヘク之ヲ着ケ兩足ハ矩形ヨリモ少シク狭ク開キテ同様ニ外側ニ向ケ兩膝ハ凝ラサル様ニ之ヲ伸ハシ上体ハ正シク腰上ニ托シ且ツ少シク前ニ傾ケ兩肩ハ故ラニ張ルコトナク唯一様ニ之ヲ下ケ兩臂ハ自然ニ垂レ掌ハ少シク前面ニ向ケ指ハ伸シテ之ヲ並ヘ小指ハ袴ノ縫目ノ後ニ當テ頭ハ高ク正シク且ツ自然ニ之ヲ保チ口ハ閉チ兩眼ハ正シク己レノ前面ヲ見ル

休憩

第八條

兵卒チ休憩セシムル爲メ教官左ノ令ヲ下ス

各個教練

休ヤスメ

此令ニテ兵卒ハ姿勢ト動カサル事トニ注意スルコトナク一足ヲ舊位ニ置キ其場ニ立テ休息ス

頭首右左ノ運動

第九條 教官左ノ令ヲ下ス

- 一 頭首カシラ
- 二 右(左)
- 三 直レ

「右(左)」ノ令ニテ兵卒ハ烈シク運動スルコトナク又肩ノ位置ヲ崩

スコトナク頭ヲ右(左)へ少シク廻ハシ同列中己レノ右(左)ニ在ルニ番目ノ兵卒ノ視線ト纜カニ其胸トヲ見ルニ至テ止ム
「直レ」ノ令ニテ兵卒ハ頭ヲ正面ニ復ス

柔軟躰操

第十條 此演習ハ特別ノ教範ニ從テ教授ス

第二教

轉回

第十一條 教官左ノ令ヲ下ス

- 一 右(左)向ケ 或ハ 半ハ右(半ハ左)向ケ

各個教練

二 右(左)

「右(左)」ノ令ニテ兵卒ハ左足先ト右足ト少シク上ケ左ノ踵ニテ圈ノ四分一或ハ八分一丈ケ右(左)ニ廻ハリ右踵ヲ左踵ノ傍ニ引着ケテ同線上ニ揃フ

背轉

第十二條

教官左ノ令ヲ下ス

一 廻ハレ

二 右

「右」ノ令ニテ兵卒ハ左踵ニテ半右向ヲナシ同時ニ右足ヲ矩形ニ

開キ左足ヨリ十五珊米離レタル所ニ置キ其中央ヲ左踵ニ對セシム

「二」ノ令ニテ兩足先ヲ少シク上ケ脛ヲ伸シ兩踵ニテ後ニ廻ハル

「三」ノ令ニテ速カニ右踵ヲ左踵ニ引キ着ク

第三教

早歩

第十三條

早歩ハヤブニ於テ一步ノ長サハ踵ヨリ踵マテチ七十珊米トシ其早サハ一分時間ニ百二十歩トス

第十四條

教官ハ兵卒ノ前方約十歩ノ所ニ立テ之ニ面シ次ニ示ス如ク舉動ヲ分解シテ歩ノ作法ヲ說示シ且ツ同時ニ親カラ

之ヲ行フテ摸範ヲ與ヘ然ル後左ノ令ヲ下ス

一 前へ

二 進メ

「前へ」ノ令ニテ兵卒ハ少シク躰ヲ前ニ傾ケ其重ヲ右足ニ托ス
 「進メ」ノ令ニテ兵卒ハ左脚ノ脛ヲ伸ハシ地面ヨリ高ク上ルコト
 ナク足先ヲ少シク外側ニ向ケテ之ヲ右足ヨリ七十珊米ノ所ニ出
 シ右踵ヲ充分ニ上ケテ全ク躰ノ重ヲ蹈着ケタル足ノ上ニ移ス
 「二」ノ令ニテ兵卒ハ右脚ヲ前ニ出ス但シ左脚ニ就テ説示セシト
 同法ヲ用ヒテ同距離ノ所ニ置ク而シテ教官ノ下ス「一」「二」ノ令

ニ從ヒ兩足ヲ組違ヘルコトナク又兩肩ヲ振ルコトナク兩臂ヲ自
 然ニ動シ頭ノ位置ヲ常ニ正シクシ續ヒテ行進ス

第十五條

行進ヲ止ムル爲メ教官左ノ令ヲ下ス

一 砲兵

二 止ル

「止ル」ノ令ハ右(左)足ノ地ニ着クキ下スモノニシテ兵卒ハ左
 (右)足ヲ七十珊米前ノ所ニ蹈着ケ次ニ右(左)足ヲ左(右)足ニ引
 着ケテ駐立ス

第十六條

教官ハ先ツ初メニ兵卒ヲシテ定規ノ歩ノ長サニ

各個教練

慣習セシムルヲ勉メ而シテ兵卒全ク此歩法ニ慣習シタルキハ漸々歩度ヲ早クシ遂ニ一分時間ニ百二十歩ノ調子ニ至ラシムヘシ

第十七條

歩ノ作法ヲシテ規則正シク且ツ確實ナラシムル爲メ教官ハ左ノ諸件ニ注意スヘシ

其一 身軀ノ重ヲ正シク前ナル足ニ移ス事

其二 身軀ノ重ヲ容易ク前足ニ移シ得ル爲メ直ニ後ナル足ノ

踵ヲ上クル事

其三 頭ハ常ニ高ク保チ軀ハ決シテ左右ニ傾ケサル事

第十八條

兵卒定規ノ歩ノ長サト早サトニ熟練セシキハ教

官ハ歩々分解シテ教ユルヲナク唯「一」「二」ノ令ヲ下シテ調子ヲ附シ行進スルヲ演習セシムヘシ但シ「一」ノ令ハ左足ノ地ニ着クキ之ヲ下シ「二」ノ令ハ右足ノ地ニ着クキ下スヘキモノトス

退歩

第十九條

兵卒靜止ニアルキ教官左ノ令ヲ下ス

一 後トヘ

二 進メ

「進メ」ノ令ニテ兵卒ハ速ニ左足ヲ後ニ引テ前足ノ踵ヨリ後足ノ踵マテ三十五珊米離レタル所ニ置キ次ニ右足ニ就テモ同シコト

各個教練

チ爲シ左ノ令アルマテ續キテ退却ス

一 砲兵

二 止ル

「止ル」ノ令ハ右(左)足ノ地ニ着ク下スモノニシテ兵卒ハ左(右)足ヲ右(左)足ノ後ニ蹈着ケ又右(左)足ヲ左(右)足ニ引着ケテ駐立ス」
教官ハ兵卒ノ臍ヲ伸シテ眞直ニ後方ニ行進スルト姿勢ヲ崩サ、
ルトニ注意スヘシ退歩ノ調子ハ早歩ノ調子ニ異ナルヲナシ

驅歩

第二十條

驅歩^{カケアシ}ニ於テ一步ノ長サハ七十五瓏米トシ其早サ

ハ一分時間ニ百八十歩トス

第二十一條

教官左ノ令ヲ下ス

一 驅歩

二 進メ

「驅歩」ノ令ニテ兵卒ハ兩手ヲ腰ノ上ニ上ケ指ヲ閉チ爪ヲ内ニ向テ肘ヲ後ニシ體ヲ前ニ傾ケテ其重ヲ右足ニ托ス

「進メ」ノ令ニテ兵卒ハ左脚ヲ前ニ出ス此時脚ヲ少シク屈メテ膝ヲ僅カニ上ケ足先ヨリ下シテ右足ヨリ七十五瓏米ノ所ニ蹈着ク次ニ右足ニテモ左足ニ就テ説示セシト同法ヲ用ヒ常ニ體ノ重ヲ

蹈着ケタル足ニ移シ兩肘ヲ自然ニ振動シ斯ノ如ク續ヒテ行進ス
教官歩ノ調子ヲ示スニハ第十八條ノ規則ニ從フヘシ

第二十二條 行進ヲ止ムルニハ第十五條ニ記載セル號令
ト方法トヲ用ヒ兵卒駐立セハ直ニ兩手ヲ列中ニ下サシムヘシ

第二十三條 兵卒刀ヲ帶フルキハ「驅歩」ノ令ニテ左臂ヲ伸シ
テ刀ノ鞘ヲ握リテ前方ニ出シ「止ル」ノ令ニテ之ヲ放ツヘキモノトス

驅歩ハ諸種ノ早サヲ以テ之ヲ行フヲ得火急ノ場合ニ在テハ一分
時間ニ百九十歩ノ調子ニ至ルコアリ

教官ハ兵卒ニ諭シ驅歩中常ニ口ヲ閉チ鼻ニテ呼吸セシムヘシ實

驗ニ依ルニ此法ヲ用フルキハ兵卒疲勞少クシテ長ク驅歩ヲ行フ
コヲ得

足踏

第二十四條 兵卒行進シ在ルキ教官左ノ令ヲ下ス

一 足踏アシフミ

二 進メ

「進メ」ノ令ハ右(左)足ノ地ニ着ク時下スモノニシテ兵卒ハ進ム
事ナク脚ヲ伸シ唯交ル々々兩足ヲ踏着ケテ調子ヲ取ル

第二十五條 兵卒ヲシテ再ヒ行進セシムル爲メ教官左ノ

各個教練

令ヲ下ス

- 一 前へ
- 二 進メ

「進メ」ノ令ハ前條ニ述ヘタル如ク下スモノニシテ兵卒ハ之ニ從ヒ以前ノ行進ニ復ス

蹈替

第二十六條

兵卒行進シ在ルキ教官左ノ令ヲ下ス

- 一 蹈替^{フミカ}へ
- 二 進メ

「進メ」ノ令ハ右(左)足ノ地ニ着ク時下スモノニシテ兵卒ハ左(右)足ヲ前ニ蹈着ケ右(左)足ヲ左(右)足ノ後ニ引着ケ次ニ左(右)足ヨリ行進ス

行進間ノ背轉

第二十七條

兵卒ヲシテ駐立スルコトナク背面ニ向ケテ行

進セシムル爲メ教官左ノ令ヲ下ス

- 一 廻レ右前へ
- 二 進メ

「進メ」ノ令ハ右足ノ地ニ着ク時下スモノニシテ兵卒ハ左足ヲ前

各個教練

ニ蹈着ケ此足先ニテ後ニ廻ハリ右足ヲ左足ノ傍ニ引着ケ其後新
タニ左足ヨリ踏出ス

第二十八條

兵卒驅歩ニ在ルキハ背轉ヲ行フニハ新方向
ニ踏出ス前ニ其場ニ於テ驅歩ノ調子ヲ以テ四小歩ヲ行ヒ以テ背
面ニ廻リ左足ヨリ踏出スヘシ

第二十九條

兵卒早歩或ハ驅歩ニテ行進セルキ之ヲ背轉
セシメタル後駐立セシムル爲メ教官左ノ令ヲ下ス

- 一 廻レ右ヘ

- 二 止ル

「止ル」ノ令ハ右足ノ地ニ着ク時下スモノニシテ兵卒ハ之ニ從ヒ

左足ヲ前ニ蹈着ケ此足ニテ後ニ廻リ右足ヲ左足ニ引着ケテ駐立ス

第三十條

上ニ載スル最初ノ諸演習ニ於テハ教官強テ兵卒
ノ整頓スルヲ望ム可ラス兵卒諸歩度ノ長サト早サトニ熟練スル
キハ自ラ整頓スルノ方法ヲ會得スルモノナリ

早歩ハ兵隊常用ノ歩法ナリ故ニ號令中早歩ヲ唱フルハ他ノ歩法

ヲ用フル兵隊ヲシテ早歩ニ移サシムル時ノミニ限ル

第二章 成列教練

總則

第三十一條

第二章ノ諸運動ヲ行フニハ兵卒八名乃至十二名ヲ以テ一隊ヲ編成シ成ルヘク下士及ヒ上等兵各一名ヲ附屬スルヲ要ス又嚮導ノ職務ハ一名ノ上等兵或ハ熟練セル一名ノ兵卒ヲシテ之ヲ執ラシム

諸運動ヲ行フニハ始メニ刀ヲ帶ヒスシテ行ヒ次ニ之ヲ帶ヒテ行フ又始メハ一列ニテ行ヒ後ニ二列ニテ行フ

二列ニテ運動ヲ行フキハ第二列兵ノ胸ヨリ第一列兵ノ背ニ至ル距離ヲ五十珊米トス

各伍ハ右ヨリ左ニ番號ヲ附ス

教官ハ常ニ嚮導ニ方向點ヲ指示ス嚮導ハ北點ニ準シテ中間諸點ヲ取り以テ其行進方向ヲ正フス可シ

嚮導轉位ヲ爲スキハ常ニ駈馳ニテ隊ノ正面前ヲ通過スヘシ

各兵卒ハ駐立スル毎ニ嚮導ノ方ニ整頓ス其後教官ハ「直レ」ノ令ヲ下ス

第一教

整頓

第三十二條 教官ハ兵卒ニ整頓ノ要領ヲ了解セシムル爲メニ各個整頓ノ法ヲ教ユ之カ爲メ先ツ左ノ令ヲ下シテ嚮導ト右

(左)ノ二兵卒トチ三步前進セシム

一 右(左)二人三步前へ

二 進メ

嚮導及ヒ右(左)翼ノ二名ノ兵卒ハ三步進テ止マリ左拳ヲ臑骨ノ上ニ當ツ教官ハ此三人ノ傍ニ到リ之ニ竝ヒテ其右(左)ニ立チ整頓ヲ正ス其後左ノ令ヲ以テ順々ニ各兵卒ヲ呼出シ最初ノ二兵卒ヲ以テ作りタル整頓線ニ就カシム

一 三番(四番)(五番等)

二 線へ

「線へ」ノ令ニテ呼ハレタル兵卒ハ三步前進ス但シ最後ノ一步ハ少シク縮メ整頓線ノ後方大約二十珊米ノ所ニ於テ正シク止リ決シテ此線ヲ踏越ユヘカラス此ニ於テ第九條ニ示ス如ク眼ト頭トチ右(左)ニ廻ハシ左拳ヲ上ニ説示セル如ク臑骨ノ上ニ當テ次ニ臑ヲ伸シ小歩ヲ踏ミテ靜ニ整頓スヘキ方ノ隣兵ノ傍ニ就キ頭ノ位置ヲ崩スコトナク眼ト肩トノ線ヲ隣兵ト同線ニ置キ其肘ハ僅カニ此隣兵ノ肘ニ觸ル、如ク整頓線ニ就クヘシ

第二十三條

教官ハ列ノ前方約十歩ノ所ニ立テ之ニ面シ兵卒上ノ要領ヲ正シク行フヤ否ヤヲ監視ス又一名毎ニ整頓軸ノ

方ニ到リ己レノ肩ヲ兵卒ノ肩ノ延線内ニ置キテ整頓ヲ正シ兵卒全ク整頓線ニ就キ了レハ左ノ令ヲ下ス

直レ

「直レ」ノ令ニテ兵卒ハ左手ヲ列中ニ下シ頭ヲ正面ニ復ス此規則ハ「直レ」ノ令アレハ常ニ行フヘキモノトス

第三十四條

ムルヲアリ

教官ハ又嚮導ヲシテ各兵卒ノ整頓ヲ正サシ

第三十五條

兵卒上ノ法ニ依リ一名毎ニ正シ且ツ確實ニ整頓ヲ行ヒ得ルニ至レハ教官ハ左ノ令ヲ以テ同時ニ全隊ヲ整頓セシム

一 右(左)へ

二 準へ

「準へ」ノ令ニテ嚮導及ヒ整頓軸タル最初ノ二兵ヲ除キ他ノ兵卒ハ殘ラス同時ニ新整頓線ニ就キ第三十二條ニ示セル如ク位置ス教官ハ上(第三十三條)ニ説示セル如ク各兵卒整頓ノ要領ヲ守ルヤ否ヤヲ監視シ而シテ列ノ整頓終リタル時左ノ令ヲ下ス

直レ

次ニ整頓軸ノ方ニ到リ整頓ヲ正シ若シ整頓正シカラサル兵卒アレハ整頓軸ノ方ヨリ順次ニ此兵卒ノ番號ヲ呼ビ「後へ」或ハ「前

へ」ノ告諭ヲ下ス呼ハレタル兵卒ハ僅カニ頭ヲ整頓軸ノ方ニ廻
ハシテ其度ヲ見計ヒ靜カニ其線ニ就ク

第二十六條

後方へ整頓セシムルニハ教官先ツ左ノ令ヲ
以テ嚮導及ヒ右(左)ノ兵卒ヲ四歩後方ニ退カシム

- 一 右(左)二人四歩後トへ
- 二 進メ

次ニ左ノ令ヲ下ス

- 一 後口右(左)へ
- 二 準へ

後方へ整頓スルモ亦前方へ整頓スルト同法ヲ以テ行フ但シ兵卒
ハ五歩退歩ヲナシ整頓線ヲ後へ踏越へテ止マリ然ル後小歩ニテ
前へ進ミ整頓線ニ就クコト第三十二條ニ説示セル如シ

第二十七條

教官ハ兵卒ヲシテ嚴ニ上ノ諸要領ヲ實行セ
シムルニ注意シ且ツ左ノ諸規則ヲ遵守セシムヘシ

- 其一 兵卒體ヲ後ニ傾ケス又頭ヲ前ニ傾ケサル事
- 其二 兵卒ノ頭ヲ廻ハスハ成ルヘク纔カニシテ第九條ニ示ス
如クスヘキ事
- 其三 「直レ」ノ令アレハ列中ニ於テ復タ動クヲ得サル事

其四 「何番前へ」或ハ「何番後トへ」ノ告諭アルキ呼ハレサル

兵卒ハ決シテ動ク可ラサル事

第二十八條

二列ニアルキハ嚮導及ヒ右(左)ノ二伍ヲ以テ整頓軸ヲ作ル教官ハ此時號令ヲ下スニ「二人」ト呼ハスシテ「二伍」ト呼フヘシ又教官ハ各後列兵ノ正シク其距離ヲ取リ且ツ其前列兵ノ正後ニアルヤ否ヤニ注意スヘシ

第二教

前面及ヒ背面ニ於ケル正面行進、駐立

第二十九條

列兵正シク整頓シ在ルキ教官ハ嚮導ヲ右(左)ニ置キ高聲ニ方向ヲ示シタル後左ノ令ヲ下ス

一 前へ

二 嚮導右(左)

三 進メ

「進メ」ノ令ニテ列兵ハ活潑ニ左足ヨリ行進ヲ起シ最初ノ一步ハ少シク調子ヲ高クス嚮導ハ注意シテ示サレタル點ニ向テ進ミ常ニ肩ノ位置ヲ正シクス嚮導ノ傍ニ在ル兵卒ハ殊ニ嚮導ヨリ出過サルニ注意スヘシ

第四十條 背面行進ヲ行フニハ上ト同法ヲ以テス之カ爲メ
教官先ツ背轉ヲ爲サシム又二列ニ在ルキハ背轉ヲナシタル後嚮
導ハ新前列ニ就クヘシ

第四十一條 教官ハ次ノ諸規則ヲ嚴重ニ遵守セシムルニ注
意スヘシ

- 其一 各兵卒ハ常ニ嚮導ノ方ニ在ル隣兵トノ間隔ヲ失ハサル
ニ注意スヘキ事
- 其二 嚮導ノ方ヨリ押シ來ルキハ之ニ從ヒ反對ノ方ヨリ押シ
來ルキハ之ニ抵抗スヘキ事

- 其三 兵卒間隔ヲ失フタルキハ徐々ニ之ヲ復スヘキ事
- 其四 嚮導ハ何レノ方ニ在ルモ兵卒ハ常ニ頭ヲ正シク保ツヘキ事
- 其五 兵卒整頓線ヨリ進ミ過ルカ或ハ之ヨリ後レタルキハ成
ルヘク纔ニ步度ヲ加減シテ徐カニ整頓線ニ就クヘキ事
- 其六 兵卒二列ニ在テ行進スルキ後列兵ハ正シク其前列兵ノ
背後ニ在テ常ニ其距離ヲ保存スヘキ事

第四十二條 列兵ヲ駐立セシムルニハ教官第十五條ニ說
示セル方法ト號令トヲ用フヘシ

斜行進

第四十三條

兵卒正面行進ニ熟練シタルキハ斜行進ヲ演習セシム之カ爲メ行進中教官左ノ令ヲ下ス

- 一 斜メニ右(左)へ
- 二 進メ

「進メ」ノ令ハ右(左)足ノ地ニ着ク時下スモノニシテ兵卒ハ左(右)足ヲ定距離ニ蹈着ケテ躰ヲ半右(半左)ニ向ケ右(左)足ヨリ新方向ニ出シ此方向ニ向テ眞直ニ行進シ時々眼ヲ右(左)ノ隣兵ニ注キテ其歩ヲ加減シ其肩ハ此隣兵ノ肩ト同シ様ニ並ヘ又同列中他ノ兵卒ノ頭ハ此隣兵ノ頭ニテ見ヘサル如ク行進スヘシ此時

諸兵卒ハ歩度及ヒ斜行ノ度ヲ同シクスルニ注意スヘシ

第四十四條

正面行進ニ復セシムルニハ教官左ノ令ヲ下ス

- 一 前へ
- 二 進メ
- 三 嚮導右(左)

「進メ」ノ令ハ左(右)足ノ地ニ着ク時下スモノニシテ兵卒ハ右(左)足ヲ定距離ニ出シテ體ヲ半左(半右)ニ向ケ次ニ各兵卒左(右)足ヨリ正面行進ノ規則ニ從テ眞直ニ行進ス

第四十五條

斜行進ニ於テハ嚮導ヲ置キ換フルコトナク

各兵卒ハ常ニ斜行スル方ニ整頓シ而シテ正面行進ニ復スレハ再ヒ嚮導ノ方ニ整頓スヘシ

第四十六條 兵卒上ノ諸要領ニ熟練シ身體ノ姿勢歩ノ作法其長サ及ヒ其早サヲ會得セシキハ教官之ヲシテ早歩ヨリ驅歩ニ移リ又驅歩ヨリ早歩ニ移ラシム之カ爲メ教官左ノ令ヲ下ス

- 一 驅歩
- 二 進メ

「進メ」ノ令ハ右(左)足ノ地ニ着ク時下スモノニシテ列兵ハ之ニ從ヒ驅歩ヲ行フ此時各兵卒ハ驅歩ノ要領ヲ守リ且ツ常ニ整頓ス

ル事ニ注意スヘシ

第四十七條 早步行進ニ復セシムルニハ教官左ノ令ヲ下ス

- 一 早歩
- 二 進メ

「進メ」ノ令ハ右(左)足ノ地ニ着ク時下スモノニシテ列兵ハ之ニ從ヒ早歩ニ復ス

第四十八條 早步行進間教官ハ第二十四乃至第二十六條

ニ説示セル方法ト號令トヲ用ヒ列兵ヲシテ時々足踏及ヒ踏替ヲ行ハシムヘシ

成列教練

第四十九條

列兵行進シアルキ之ヲ止ムルコトナク背轉ヲ行ハシムルニハ教官左ノ令ヲ下ス

一 廻レ右前へ

二 進メ

三 嚮導左(右)

「進メ」ノ令ニテ各兵卒ハ第二十七條ニ説示セル如ク行進間背轉ヲ行フ嚮導モ亦同時ニ背轉ヲナシ此新方向ニ於テ示サレタル一點ニ向テ行進ス又二列ニ在レハ嚮導ハ新前列ニ就ク

第五十條

驅步行進間第二十八條ニ説示セル方法ヲ用ヒ列

兵ヲシテ背轉ヲ行ハシム

背轉ヲ爲シタル後直ニ列兵ヲシテ駐立セシムルニハ教官第二十九條ニ説示セル方法ト號令トヲ用フ

右ノ兩場合ニ於テ兵卒二列ニ在レハ嚮導ハ前列ニ就クヘシ

第五十一條

列兵靜止ニアルキ退歩ヲ行ハシムルニハ教官左ノ令ヲ下ス

一 後トへ

二 嚮導右(左)

三 進メ

「進メ」ノ令ニテ兵卒ハ第十九條ニ説示セル規則ニ從ヒ退歩ヲ行フ又列兵ヲ駐立セシムルニモ同條ニ説示セル方法ト號令トヲ用フヘシ

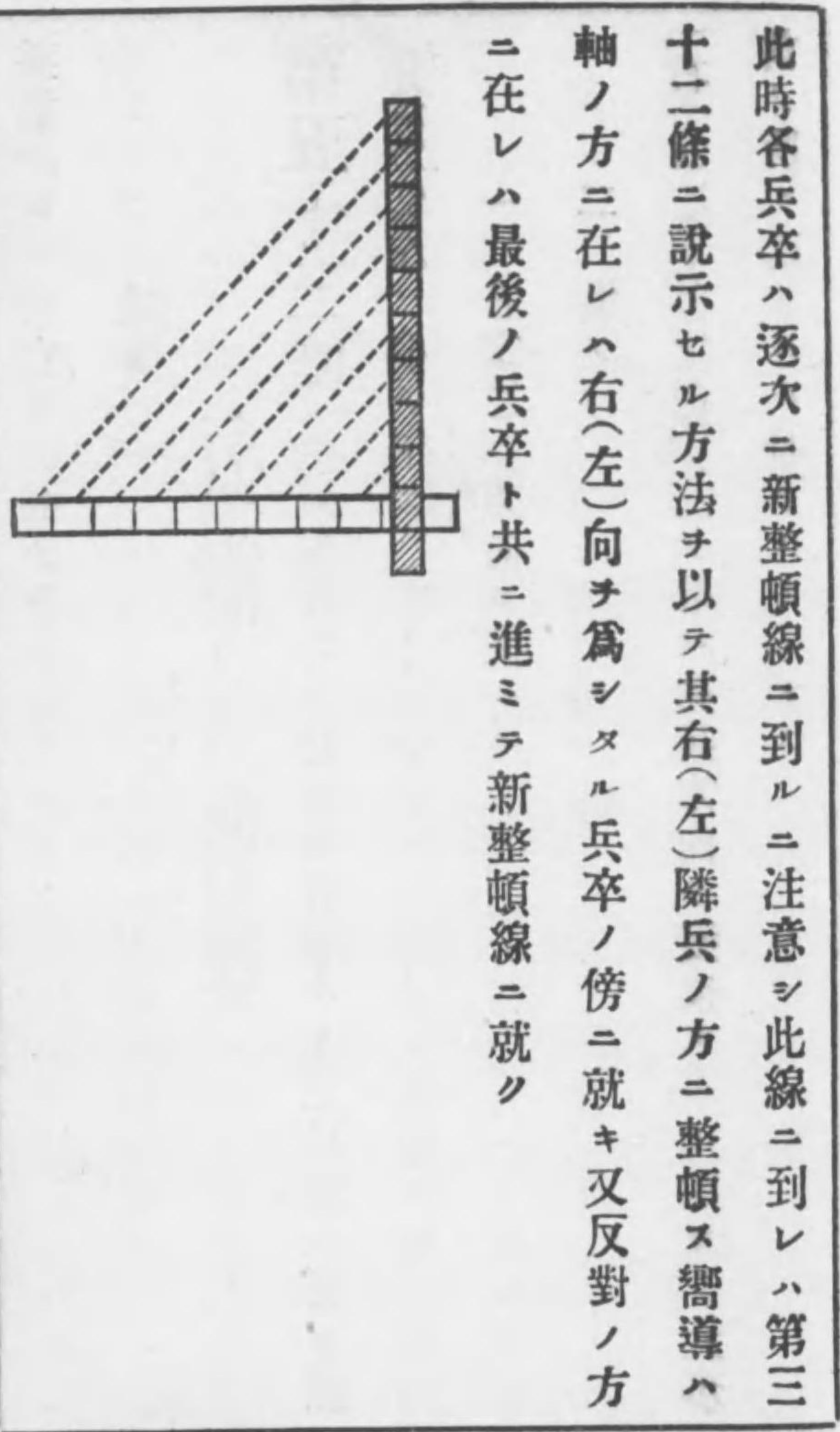
靜止間ノ方向變換

第五十二條

列兵靜止ニ在ルキ教官左ノ令ヲ下ス

- 一 小隊右(左)へ
- 二 進メ

「進メ」ノ令ニテ右(左)ノ兵卒ハ其儘右(左)向ヲナス其他ノ兵卒ハ半右(半左)向ヲナシ次ニ捷路ヲ採リ驅歩ニテ新整頓線ニ就ク



此時各兵卒ハ逐次ニ新整頓線ニ到ルニ注意シ此線ニ到レハ第三十二條ニ説示セル方法ヲ以テ其右(左)隣兵ノ方ニ整頓ス嚮導ハ軸ノ方ニ在レハ右(左)向ヲ爲シタル兵卒ノ傍ニ就キ又反對ノ方ニ在レハ最後ノ兵卒ト共ニ進ミテ新整頓線ニ就ク

整頓終レハ教官左ノ令ヲ下ス

直レ

行進間ノ方向變換

第五十二條

列兵行進シ在ルキ嚮導ヲ左(右)翼ニ置キ然

ル後教官左ノ令ヲ下ス

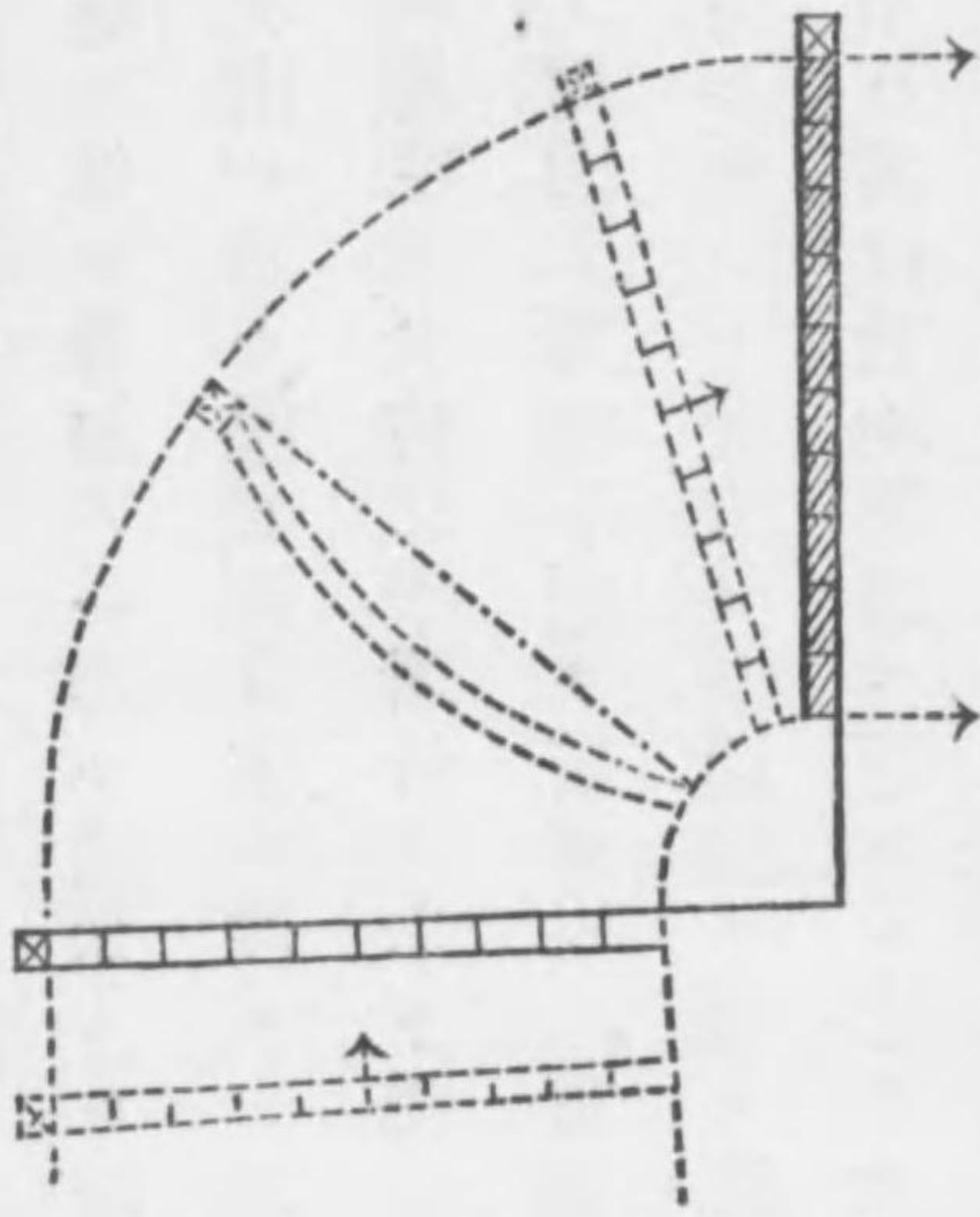
一 右(左)ニ方向^{ムキ}ヲ換ヘ

二 進メ

「右(左)ニ方向ヲ換ヘ」ノ令ハ列兵方向ヲ變換スヘキ點ヨリ六歩前ノ所ニ來リタル時下スモノトス

「進メ」ノ令ハ列兵此點ト齊頭ノ所ニ來リタル時下スモノニシテ嚮導ハ之ニ從ヒ其經過スヘキ土地ヲ見計ヒ七十珊米ノ步度ニテ行進ス但シ最初ノ一步ヲ踏始ムル時ヨリシテ外側ノ肩ヲ少シク前ニ出シ時々眼ヲ列ノ方ニ注キテ其步法ヲ斟酌スヘシ軸ノ方ニ在ル兵卒ハ大約二十珊米ノ步ヲ踏ミテ行進翼ノ運動ニ從ヒ旋回軸ノ周圍ニ於テ小圈ヲ畫キツ、前進ス其他ノ兵卒ハ頭ヲ行進翼ノ方ニ廻ハシ此方ヨリ間隔ヲ取り嚮導ノ運動ニ從テ行進ス都テ兵卒ハ其位置旋廻軸ニ近キニ從テ次第ニ其步ヲ縮ムヘシ列ノ中央ハ少シク中凹トナルヲ良トス

教官ハ各兵卒正シク上ノ要領ニ從フヤ否ヤニ注意スヘシ



方向ヲ變換シ終レハ教官左ノ令ヲ下ス

一 前へ

二 進メ

三 嚮導左(右)

「前へ」ノ令ハ方向ヲ變換シ終ルヘキ點ヨリ六歩前ニ於テ下スヘキモノトス

「進メ」ノ令ハ全ク方向ヲ變換シ終リシ時下スモノニシテ軸ニ在ル兵卒及ヒ其他ノ兵卒ハ皆七十珊米ノ步度ニ復シ頭ヲ眞直ニス嚮導ハ示サレタル點ニ向テ行進ス

兵卒二列ニ在レハ後列兵ハ其前列兵ノ運動ニ從ヒ又驅歩ニテ方向變換ヲ行フキモ上ノ規則ニ從フヘシ

解散及ヒ集合

第五十四條

列兵ヲ解散スルニハ教官左ノ令ヲ下ス

一 解^{ワカ}レ

二 進^メ

「進^メ」ノ令ニテ各兵卒ハ解散ス

第五十五條

再ヒ兵卒ヲ集ムルニハ教官右手ヲ高ク上ケ

テ左ノ令ヲ下ス

集^マレ

「集^マレ」ノ令ニテ各兵卒ハ其指示ニ從ヒ速カニ一列或ハ二列ニ

集マリ番號ノ順次ニ從テ整列シ其中央ハ教官ヨリ四步距ル如ク
位置ス此時諸兵卒ハ教官ニ面シ自カラ右ニ整頓ス又嚮導ハ列兵
ノ右ニ就ク
次ニ教官左ノ令ヲ下ス

直^レ

第三教

側面行進

第五十六條

列兵靜止シ正シク整頓シアルキ教官ハ右(左)

側面行進ヲ爲サシメンカ爲メ嚮導ヲ右(左)ニ置キ次ニ左ノ令ヲ

成列教練

下ス

一 右(左)向ケ

二 右(左)

三 前へ

四 進メ

「右(左)」ノ令ニテ嚮導及ヒ各兵卒ハ右(左)向チナシ次ニ偶數兵(奇數兵)ハ速カニ奇數兵(偶數兵)ノ右(左)ニ出テ、之ニ並ヒ二兵卒ヲ以テ一伍ヲ作ル此時伍ハ常ニ同シ二兵卒ヨリ成ルモノニシテ其中一名ハ奇數ノ番號ヲ有テ他ノ一名ハ偶數ノ番號ヲ保ツ

例へハ一番ト二番、三番ト四番、五番ト六番等ハ常ニ相重複スル

カ如シ

「進メ」ノ令ニテ各兵卒ハ活潑ニ左足ヨリ行進ヲ起シ各伍ハ左(右)方ニ整頓シ且ツ距離ヲ保ツ嚮導ノ後ニ在ル兵卒ハ正シク其跡ニ從テ行進シ其他ノ兵卒ハ列中ニ在テ互ニ前後ニ重ナリ其直前ニ在ル兵卒ノ頭ヲ以テ其前方諸兵卒ノ頭ヲ盡ク掩フ如ク行進ス

第五十七條

教官ハ通常縱隊ノ側方ヨリ五六歩ノ所ニ在リテ各伍其距離ヲ保存スルヤ否ヤ又時トシテ重複セル列ノ後方ニ至リテ駐立シ之ヲシテ十五歩乃至二十步行進セシメ各兵互ニ

正シク重疊スルヤ否ヤヲ檢視スヘシ
兵卒二列ニ在リテ側面向チ爲スキハ前列兵ハ上ニ説示ス如ク重
複ス後列兵ハ右(左)向チ爲スト同時ニ一步右(左)ニ倚リタル後
亦同法ヲ以テ重複ス故ニ運動終レハ各伍ハ前列ノ方ニ整頓セル
四名ノ兵卒ヨリ成ルモノトス

行進間伍ノ分解及ヒ重複

第五十八條

側面行進間教官左ノ令ヲ下ス

一 伍々解^{クミグミツカ}レ

二 進メ

「進メ」ノ令ニテ各列中重複シタル兵卒ハ其歩ヲ縮メテ常ニ並フ
ヘキ兩隣兵ノ間ニ入ル次ニ後列兵ハ一步左(右)ニ倚リテ其前列
兵ノ傍ニ就ク

第五十九條

伍ヲ重複セシムルニハ教官左ノ令ヲ下ス

一 伍々併^{クミグミアハ}セ

二 進メ

「進メ」ノ令ニテ前條ト反對ノ動作ヲ以テ各伍ハ分解前ノ位置ニ
復ス

縦隊ノ駐立及ヒ正面

第六十條 教官左ノ令ヲ下ス

- 一 砲兵
- 二 止ル
- 三 左(右)へ
- 四 正面

「止ル」ノ令ニテ縦隊ハ止リ各兵卒ハ假令距離ヲ失フモ復タ動ク可ラス

「正面」ノ令ニテ各兵卒ハ示サレタル方ニ向キ其後ニ在ル者ハ伍ヲ解キテ速ニ其列中ノ定位置ニ復シ次ニ後列兵ハ其距離ヲ閉チ

右(左)方へ整頓ス

次ニ教官左ノ令ヲ下ス

直レ

第六十一條 兵卒此諸運動ヲ行フニ熟練シタルキハ教官

左ノ令ヲ以テ駐立スル後直ニ正面向ヲ爲スヲ習ハシム

- 一 左(右)向ケ
- 二 止ル

「止ル」ノ令ニテ縦隊ハ止リ次ニ前條ニ説示シタル如ク示サレタル方ニ正面ヲナス

成列教練

兵卒二列ニ在レハ後列兵ハ前列兵ノ如ク伍ヲ解キ次ニ其距離ヲ閉ツ

第六十二條 教官ハ時トシテ左ノ令ヲ以テ兵卒ヲ一列或

ハ二列トナシ伍ヲ重複スルコトナク側面行進ヲ行フコトヲ習ハシム

- 一 砲兵右(左)へ
- 二 右(左)
- 三 前へ
- 四 進メ

伍々方向變換

第六十二條 兵卒側面行進ニ熟練シタル時ハ教官之ヲシ

テ靜止或ハ行進間伍々方向ヲ變換スルコトヲ習ハシム之カ爲メ左ノ令ヲ下ス

- 一 伍々左(右)へ
- 二 進メ

「進メ」ノ令ニテ先頭ノ伍ハ小圈ヲ畫キツ、左(右)ニ方向ヲ變ヘ行進翼ニ在ル兵卒ハ續テ同シ歩ノ長サト早サトヲ以テ行進シ旋廻軸ニ在ル兵卒ハ最初ノ三四歩(二列編制ニ在テハ五六歩)ヲ縮メ各伍ハ其先ナル伍ト同シ所ニ到リテ方向ヲ換ヘ行進中俄ニ止

成列教練

ルヲ或ハ突當ルヲナキニ注意スヘシ

第六十四條

兵卒一列ノ側面行進ヲ行フキハ諸兵卒ハ第一ノ兵卒ト同シ所ニ於テ方向ヲ變換シ常ニ歩ノ長サト調子トヲ變スルヲナキヲ要ス

行進間ノ轉回

第六十五條

行進間轉回ヲ行ハシムルニ教官左ノ令ヲ下ス

- 一 左(右)向ケ前へ
- 二 進メ
- 三 嚮導右(左)

「進メ」ノ令ハ左(右)足ノ地ニ着ク時下スモノニシテ兵卒ハ右(左)足ヲ定距離ニ蹈着ケテ體ヲ廻ハシ左(右)足ヨリ新方向ニ踏出シテ步調ヲ變スルヲナク續テ行進ス此時各伍ハ速ニ伍ヲ解キ或ハ重複ス

第六十六條

教官行進間轉回ヲ行ハシムルノ度数ハ多キニ過キサルヲ要ス是レ兵卒ノ意慮ヲシテ混亂セシメサルカ爲ナリ又正面行進ヨリ側面行進ニ移ルキ嚮導ハ行進スヘキ方ニ在ラサレハ「進メ」ノ令ニテ速ニ此方ニ移ル可シ

驅歩ヲ以テスル側面行進ノ要領ハ早步行進ニ於ケルト異ナルヲ

ナシ但シ教官「進メ」ノ令ニ先チ「驅歩」ノ令ヲ下スヲ要ス

一 列ヨリ二列ニ及ヒ二列ヨリ

一 列ニ移ル法

第六十七條

兵卒一列ニ在ルキ之ヲ二列ニ移スニハ教官

左ノ令ヲ下ス

一 二列ニ右へ

二 右

三 進メ

「右」ノ令ニテ嚮導ハ其儘動クヲナシ其他ノ諸兵卒ハ盡ク右向チ

ナシテ重複ス

「進メ」ノ令ニテ第一伍ノ二兵卒ハ左向チナシテ嚮導及ヒ此二兵卒ハ左拳ヲ臑骨ノ上ニ當テ、整頓シ其他ノ各伍ハ行進ヲ起シテ間隔ヲ縮メ然ル後駐立シテ左向チナシ自カラ右ニ整頓ス次ニ教官左ノ令ヲ下ス

直レ

第六十八條

兵卒二列ニ在ルキ之ヲ一列ニ移スニハ教官

左ノ令ヲ下ス

一 一列ニ右へ

成列教練

二 右

三 進メ

「右」ノ令ニテ嚮導及ヒ列兵ハ其儘右向チナス

「進メ」ノ令ニテ嚮導ハ前列ノ延線ニ從テ行進シ第一伍モ亦之ニ隨テ同時ニ行進ス其他ノ各伍ハ伍ヲ解キ得ル丈ケノ距離ヲ得ルニ從テ逐次ニ行進チ起シ而シテ最後ノ一伍行進チ起サントスル時教官左ノ令ヲ下ス

一 砲兵

二 止ル

三 左へ

四 正面

「正面」ノ令ニテ左向チナシテ伍ヲ解キ左ニ整頓ス
次ニ教官左ノ令ヲ下ス

直レ

第六十九條

此運動ハ常ニ右方ニ行フモノトス教官若シ之ヲ左方ニ行ハシメント欲スレハ先ツ背轉チ爲サシム此時嚮導ハ新前列ノ右ニ就キ運動終レハ教官背轉チナサシメ嚮導ハ右ニ復ス

第三章 砲兵刀操法

砲兵刀操法

第七十條 第一章總則ハ此ニ適用ス

最初ハ兵卒ヲ一列トシ次ニ之ヲ二列トシテ教授シ亦行進間ニ於テモ教授スヘシ
兵卒ヲシテ拔刀ノ儘行進セシムルキハ「進メ」「止ル」ノ令アルモ常ニ「腕ニ刀」ノ姿勢ヲナスヘシ又驅步行進ハ拔刀ノ儘決シテ施行セサルモノトス
靜止間拔刀シ一時休憩スルキ兵卒ハ「腕ニ劍」ヲナスカ若クハ右拳ヲ腹部ノ中央ニ致シ左手ヲ以テ右手ノ甲ヲ保持シ刀身ヲ右臂ニ托スルモ妨ナシ

前列兵ノ姿勢ニテ刀ヲ拔ク法

第七十一條 教官左ノ令ヲ下ス

- 一 拔ケ
- 二 刀ツル
- 二節

「拔ケ」ノ令ニテ兵卒ハ姿勢ヲ亂サス頭ヲ稍々左ニ傾ケ左手ニテ其甲ヲ外ニシ刀韋ヲ握リ柄ヲ稍々前ニ傾ケ同時ニ右手ニテ其甲ヲ外ニシ刀把ヲ握リ刀身ヲ鞘ヨリ十珊米拔キ頭ヲ正面ニ復ス
「刀」ノ令ニテ兵卒ハ右臂ヲ前ニ出シ疾ク刀ヲ拔キ拳ハ眼ノ高サ

ニシ臂ト刀身ト一直線ヲナシ一段ヲナシテ之ヲ右肩ニ移シ刀背
ヲ肩ノ凹ニ支ヘ拳ヲ腕骨ニ接シ刀身ヲ垂直ニ保チ肘ヲ張ルヲナ
ク小指ヲ柄外ニシ他ノ諸指ヲ閉チ左手ハ脇ニ垂ル

前列兵ノ姿勢ニテ刀ヲ納ムル

法

第七十二條

教官左ノ令ヲ下ス

一 納メ

二 刀

二節

「納メ」ノ令ニテ兵卒ハ左手ニテ甲ヲ外ニシ鞞ヲ握リ鞞口ヲ稍々
前ニ傾ケ右手ニテ刀ヲ前面ニ移シ拇指ヲ頤ノ高サニシ之ヨリ十
珊米隔テ肘ヲ體ニ接シ刀身ヲ垂直ニシテ刃ヲ左ニ向ケ拇指ヲ伸
ハシテ刀把ノ一側即チ列續ナキ方ニ副へ小指ヲ他ノ三指ト列ス
「刀」ノ令ニテ右臂ヲ高ク伸ハシ拳ヲ轉シテ刀身ヲ左ニ倒シ頭
ヲ稍々左ニ傾ケ眼ヲ鞞口ニ注キ刀身ヲ納メ頭ヲ正面ニ復シ兩手
ヲ兩脇ニ垂ル

後列兵ノ姿勢ニテ刀ヲ拔ク法

第七十三條

教官左ノ令ヲ下ス

砲兵刀操法

一 拔ケ

二 刀

二節

「拔ケ」ノ令ニテ兵卒ノ爲スヘキ動作ハ前列兵ニ於ケルト異ナルヲナシ
 「刀」ノ令ニテ兵卒ハ右臂ヲ舉ケ全ク刀身ヲ鞞ヨリ拔キ一段ヲナ
 シテ刀尖ヲ左臂ニ沿ヘテ下ニ向ケ柄ヲ左肩ニ對シ其高サニ移シ
 拳ヲ轉シテ刀身ヲ左臂ニ沿ヘテ起シ之ヲ右肩ニ移シ刀背ヲ肩ノ
 凹ニ支ヘ拳ヲ腕骨ニ接シ刀身ヲ垂直ニ保チ肘ヲ張ルヲナク小指
 ヲ柄外ニシ他ノ諸指ヲ閉チ左手ハ脇ニ垂ル

後列兵ノ姿勢ニテ刀ヲ納ムル法

第七十四條

教官左ノ令ヲ下ス

一 納メ

二 刀

二節

「納メ」ノ令ニテ兵卒ノ爲スヘキ動作ハ前列兵ニ於ケルト異ナルヲナシ
 「刀」ノ令ニテ兵卒ハ右拳ヲ左肩ニ對シ十五珊米ヲ隔テ刀身ヲ左
 臂ニ沿フテ後方ニ倒シ刀尖ヲ下ニシ頭ヲ稍、左ニ傾ケ服ヲ鞞口
 ニ注キ刀身ヲ納メ頭ヲ正面ニ復シ兩手ヲ兩脇ニ垂ル

刀ヲ捧ル法

第七十五條

「肩へ刀」ニアルキ教官左ノ令ヲ下ス

一 捧ケ

二 刀

一節

「刀」ノ令ニテ兵卒ハ「納メ刀」ノ第一節ヲ行フ但シ左手ニテ握ヲ探ルコナシ

刀ヲ肩ニ執ル法

第七十六條

「捧ケ刀」ニアルキ教官左ノ令ヲ下ス

一 肩へ

二 刀

一節

「刀」ノ令ニテ兵卒ハ刀ヲ肩ニ復ス

刀ヲ腕ニ執ル法

第七十七條

「肩へ刀」ニアルキ教官左ノ令ヲ下ス

一 腕ニ

二 刀

一節三動

「刀」ノ令ニテ兵卒ハ右手ヲ以テ刀ヲ肩ヨリ十珊米離シ同時ニ左手ノ拇指ト次ノ三指ヲ以テ鐔ノ上方十珊米ノ所ニ就テ刀身ヲ撮ミ小指ハ拇指ト同側ニ置ク

「二」右手ヲ轉シ其甲ヲ外ニシテ鐔ヲ採リ刀把ヲ食指ト中指ノ間ニ挾ミ拇指ハ鐔ノ上ニ十字ニ置ク

「三」左手ヲ疾ク脇ニ復シ右臂ヲ伸ヘ肩ノ凹ニ刀背ヲ支フ

刀ヲ肩ニ執ル法

第七十八條

「腕ニ刀」ニアルキ教官左ノ令ヲ下ス

一 肩へ

二 刀

一節三動

「刀」ノ令ニテ兵卒ハ右手ヲ以テ垂直ニ刀ヲ舉ケ刀身ヲ肩ヨリ十珊米離シ左手ヲ以テ鐔ノ上方十珊米ノ所ニ就テ刀身ヲ撮ム

「二」右手ヲ刀把ニ複ス

「三」刀ヲ肩ニ復シ同時ニ左手ヲ脇ニ垂ル

刀ヲ構ル法

第七十九條

一列ニテ「肩へ刀」ニアルトキ教官左ノ令ヲ下ス

一 構へ

二刀

「刀」ノ令ニテ左踵ニテ半右向ヲ爲シツ、右足ヲ左足ヨリ後へ三十珊米右へ二十五珊米ニ移シ同時ニ刀身ヲ前方ニ傾ケ右手ヲ固ク閉チテ之ヲ臑骨ニ支ヘ刀尖ヲ相對スル人體ノ胸部ニ向ク

刀ヲ肩ニ執ル法

第八十條

「構ヘ刀」ニアルキ教官左ノ令ヲ下ス

一 肩へ

二 刀

「刀」ノ令ニテ右足ヲ左足ニ接シ同時ニ刀ヲ肩ニス

第二部

徒歩中隊教練

總則

第八十一條

此教練ノ目的ハ中隊孤立スルカ或ハ聯合ス

ルニ當リ運動スルノ法ヲ中隊ニ教授スルニ在リ

中隊ノ教練ハ先ツ小隊ノ豫行教練ヨリ始ム

小隊ノ教練ニ於テハ少クモ八伍ヲ以テ編成スルヲ要ス

中隊ノ教練ニ於テハ三小隊ヲ以テ編成ス

小隊以上ノ教練ニ在テハ下士卒共皆背囊ヲ負ヒ砲兵刀ヲ佩フ

小隊及ヒ中隊ハ前面ニ在ルト背面ニ在ルトニ拘ハラス常ニ運動シ得ヘキモノトス

諸種ノ隊形ニ於テ小隊ノ占位スル順序ノ如何ニ拘ラス又其前面或ハ背面ニ在ルヲ問ハス都テ各部隊ニハ現ニ横隊或ハ縦隊ニ於テ占領スル位置ニ從テ番號ヲ附スルモノトス

故ニ横隊々形ノ右翼ニ在ル小隊或ハ縦隊々形ノ先頭ニ在ル小隊ハ常ニ第一ノ番號ヲ有ス然レモ各小隊長其號令ヲ下スニハ唯「小隊」トノミ唱ヘ決シテ其番號ヲ呼フヲナシ

本文教官ヲ稱スルニハ小隊或ハ中隊ノ教練ニ應シテ小隊長或ハ

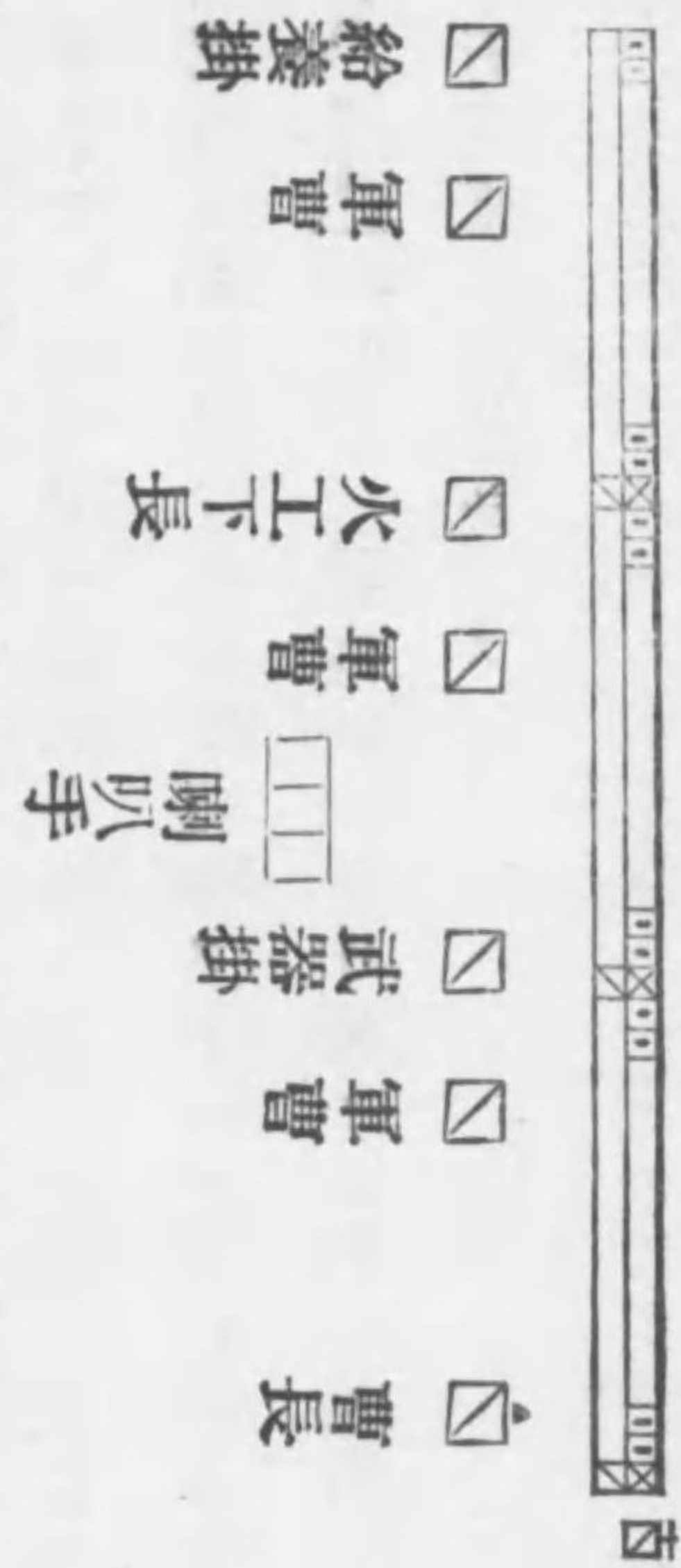
中隊長ト云フ

教官ハ定位ナシ唯運動ノ總體ヲ監視スルニ適長ナリト考フル所ニ位置スヘシ

各小隊長及ヒ各押伍ハ教官ヲ助ケテ運動ヲ監視シ且ツ細事ニ注意シ過誤アルヲ見レハ靜カニ之ヲ修正シ後ヲ教官ニ報告スヘシ各幹部及ヒ喇叭手ノ位置ヲ變換スルニハ常ニ駈歩ヲ以テスヘシ

第八十二條

横隊ニ於テ中隊ハ二列ニ編成シ其各伍ハ互ニ十五珊米ノ間隔ヲ存ス



後列兵ノ胸ヨリ前列兵背囊ニ至ル距離ハ五十珊米トス
 中隊長ハ中隊ノ右翼ニ於テ小隊長ヨリ二步ノ所ニ位置ス
 小隊長ハ其小長ノ右翼第一列ニ位ス
 各小隊ノ嚮導ナル軍曹ハ小隊第二列ノ右(左)翼ニ於テ小隊長ノ

背後ニ位置シ押伍列ハ第二列ノ後方四步ニシテ其内軍曹三名ハ
 各其左半小隊ノ中央後ニ曹長ハ中隊ノ右翼後ニ給養掛ハ其左翼
 後ニ武器掛ハ第二小隊ノ右翼後ニ火工下長ハ第二小隊ノ左翼後
 ニ位置シ上等兵ハ其小隊ノ右或ハ左ニ在テ第一列ニ位置シ小隊
 ノ中ニ編入ス
 喇叭手ハ横隊ノ中央後十步ニアリ
 嚮導其定位ヨリ出入スヘキハ小隊長ハ一步前進シテ之ヲ通過
 セシムヘシ
 小隊長其定位ヨリ出ルキハ嚮導之ニ代テ前列ニ就ク

第八十三條 小隊縱隊ニ於テ各小隊長ハ其小隊ノ中央前三歩ノ所ニ位置シ各嚮導ハ通常其小隊ノ前列ノ右ニ位置ス又喇叭手ハ後尾小隊ノ中央後押伍列ニアリ

第八十四條 前面及ヒ背面行進ニ於テ嚮導ノ位置ハ常ニ號令ヲ以テ指示スヘキモノトス
運動間各部隊駐立スル毎ニ各兵卒ハ自ラ整頓ス其法左ノ如シ
横隊ニ在テハ小隊長速ニ整頓線ニ就キ其兩肩ヲ正シク前列ノ線中ニ置キ最初ノ二兵ヲ此線中ニアラシメ次ニ他ノ兵卒ノ位置ヲ正ス

小隊縱隊ニ在テハ教官ハ先頭小隊ノ嚮導或ハ右(左)伍ノ前面數歩ノ所ニ位置シテ此嚮導或ハ此右(左)伍ヲ正面ト直角ヲナス方向内ニ置キ各小隊長ハ縱隊ノ側方二歩ノ所ニ出テ列線ト直角ヲナス方向内ニ兩肩ヲ位置シテ整頓ヲ正ス
整頓了レハ教官「直レ」ノ令ヲ下ス此令ニテ各小隊長及ヒ各嚮導ハ横隊ニ在レハ其定位ニ復シ縱隊ニ在レハ小隊長ハ其定位ニ復シ嚮導ハ特令アラサレハ其右ニ就ク

第八十五條 右(左)向ヲ行ヒ各小隊側面ニ向キタル片嚮導ハ重複セル伍ノ先頭ニテ第一列兵ノ前ニ立チ小隊長ハ嚮導ノ

左(右)ニ就ク教官ノ下ス號令ハ各小隊長之ヲ復唱スルヲナシ
行進間諸種ノ方向變換ヲ行フニ當リ教官ハ該運動ヲ始ムヘキ點
ト齊頭ノ所ニ到リテ駐立スルカ或ハ標兵ヲ配置ス

中隊教練ノ區分

第八十六條 此教練ヲ分テ二章トナシ其第一章ハ小隊ノ
教練ヲ載セ第二章ハ中隊ノ教練ニシテ之ヲ三教ニ分ツ

第一章 小隊教練

背轉

第八十七條 小隊靜止シテ橫隊ニ在ルキ小隊長左ノ令ヲ下ス

一 後口ヘ正面

二 廻レ

三 右

「後口ヘ正面」ノ令ニテ各押伍ハ速ニ小隊ノ左ヲ通過シ前列ヲ離
ル、一四步ニシテ其定位ニ就キ小隊ニ面シテ立ツ

「右」ノ令ハ最後ノ押伍小隊ノ左翼ヲ通過シ了ルキ小隊背面ニ向
ク如ク唱フルモノトス此令ニテ小隊ハ背轉ヲ行ヒ嚮導ハ新々ナ
ル前列ニテ其右翼ニ就ク

第八十八條 押伍列ヲ移動スルヲ要セサルキハ小隊長左

ノ令ヲ下ス

- 一 廻レ
- 二 右

整頓

第八十九條 小隊長ハ新兵教練第三十五及ヒ第三十六條ニ説示セル號令ト方法トヲ用ヒ其小隊ヲシテ右左前後ニ平行或ハ斜行ノ整頓ヲ行ハシムヘシ

第九十條 兵卒上ニ示シタル諸整頓ニ熟練スレハ小隊長嚮導ノミチ新線ニ置キ以テ之ニ整頓スルヲ行ハシムヘシ

諸種ノ整頓ニ於テ押伍列ハ常ニ後列ヨリ四歩ノ所ニ位置ス而シテ各兵正シク間隔ヲ保チ且ツ後列兵ハ正シク前列兵ノ背後ニ位置スルヤ否ヤヲ監視スヘシ

列ノ開閉

第九十一條 小隊長左ノ令ヲ下ス

- 一 後列開ケ
- 二 進メ

「後列開ケ」ノ令ニテ嚮導ハ前列ヨリ四歩(約三米)ノ所ニ退ク此距離ハ歩ニテ測ルヲナク唯目測ニテ之ヲ定ムヘシ

「進メ」ノ令ニテ後列兵ハ退步ヲナシ嚮導ヲ越エタル後駐立シテ嚮導ニ整頓ス嚮導ハ前列ニ平行スル如ク其整頓線ヲ正ス
小隊長ハ整頓ヲ檢査シタル後左ノ令ヲ下ス

直レ

「直レ」ノ令ニテ嚮導ハ前列ノ定位ニ復ス
押伍列ハ後列ト同時ニ退步ヲナシ後列ノ整頓了レハ之ヲ距ル四歩ノ所ニ位置ス

第九十二條

列ヲ開キタル後之ヲ閉チント欲スレハ小隊長左ノ令ヲ下ス

一 後列閉メ

二 進メ

「進メ」ノ令ニテ各後列兵ハ其前列兵ニ向テ行進シ以テ其距離ヲ閉ツ

押伍列モ亦後列ト同時ニ其距離ヲ閉ツ

前面及ヒ背面ニ於ケル正面行進

第九十三條

小隊靜止ニアル時方向ヲ取ラントスル方ニ嚮導アラサレハ小隊長先ツ之ヲ此方ニ移シ然ル後嚮導ノ後方約十五歩ノ所ニ位置シ小隊ノ正面ト直角ヲナス線上ニ於テ充分ニ

遠隔シ且ツ明瞭ニ望見シ得ル地物ヲ撰ミ高聲ヲ以テ之ヲ嚮導ニ指示ス嚮導ハ正シク之ニ面シ此地物ト己レトノ間ニ中間ノ一點ヲ撰定スヘシ

嚮導ノ中間點ヲ撰定スルハ普通ノ規則トス

次ニ小隊長左ノ令ヲ下ス

一 前へ

二 嚮導右(左)

三 進メ

「進メ」ノ令コテ小隊ハ活潑ニ行進ヲ起ス嚮導ハ最モ嚴密ニ歩ノ長

サト調子トヲ保テ示サレタル點ニ向テ行進シ而シテ行進スルニ從ヒ逐次ニ新中間點ヲ採リテ常ニ正シク最初ノ方向内ニ在ルヲ勉ム又兵卒ハ新兵教練第三十九條ニ於テ正面行進ノ爲メニ説示セル要領ニ從フヘシ
押伍列ハ常ニ後列ヨリ四歩ノ處ニ在テ行進ス

小隊背面向ニ在ルキモ亦上ノ要領ニ從テ行進ヲ行フ

第九十四條

小隊長ハ新兵教練第四十九及ヒ第五十條ニ

説示セル要領ニ從ヒ駐立セシムルヲナク背轉ヲ行ハシム此時押

伍列ハ其位置ヲ變スルヲナシ

小隊教練

第九十五條

小隊長ハ新兵教練第五十一條ニ説示セル要領ニ從ヒ小隊ヲシテ退歩ヲ行ヒ以テ後方ニ退却セシム

第九十六條

小隊行進セルキ小隊長ハ新兵教練第四十六及ヒ第四十七條ニ説示セル要領ニ從ヒ時々小隊ヲシテ早歩ヨリ驅歩ニ移リ又驅歩ヨリ早歩ニ移ラシムヘシ

第九十七條

兵卒ヲシテ歩ノ長サト調子トニ慣レ且ツ正面行進ノ要領ヲ會得セシムル爲メ小隊長ハ地形之ヲ容スキハ其小隊ヲシテ駐立スルヲナク三百歩乃至四百歩ヲ行進セシム而シテ小隊長ハ一切ノ過誤ヲ發見スル爲メ成ルヘク嚮導ノ方ナル翼

側ニ位置スヘシ又時々小隊長ハ嚮導ノ後方ニ到リテ駐立シ之ヲシテ二三十步行進セシメ常ニ示シタル方向線ヨリ離レサルヤ否ヤヲ監視スヘシ

斜行進

第九十八條

小隊長ハ新兵教練第四十三及ヒ第四十四條ニ説示セル方法ト號令トヲ用ヒテ斜行進ヲ行ヒ又之ヲ正面行進ニ復スヘシ

小隊正面行進ニ復シタル時小隊長ハ嚮導ノ後方ニ到リ新行進線上ニ於テ方向點ヲ撰定シ之ヲ嚮導ニ指示スヘシ

駐立、方向變換、側面行進、側面行進ニ屬スル諸運動、二列ヨリ一列ニ及ヒ一列ヨリ二列ニ移ル法

第九十九條

此諸運動ハ新兵教練第四十二條以下ニ於テ成列教練ノ爲メニ說示セル要領ニ從ヒ本教練ノ總則ニ準據シテ施行スルモノトス但シ號令中要スルキハ「砲兵」チ「小隊」ニ代フヘシ
第百條 橫隊ニ在ル小隊側面向チ爲スキ押伍列ハ其場ニ在テ右(左)向チ爲スヘシ然ルキハ押伍列ハ第四列ヨリ殆ント二歩ノ所ニ在リ

解散及ヒ集合

第百一條

小隊長左ノ令チ下ス

一 解レ

二 進メ

「進メ」ノ令ニテ小隊ハ解散ス

第百二條

再ヒ小隊ヲ集合スルニハ小隊長新正面ヲ置クヘ

キ線ニ面シテ立チ刀ヲ上ケテ左ノ令チ下ス

集マレ

此令ニテ各速ニ小隊長ノ方ニ集リ解散前ノ隊形ヲ取ル

第百三條 中隊以上ノ教練ニ在テモ解散及ヒ集合ハ前二條

ヲ適用ス

第二章 中隊教練

第一教

背轉

第百四條 中隊横隊ニテ靜止ニ在ルキ第八十五及ヒ第八十

六條ニ於テ小隊ノ爲メニ說示セル要領ニ從テ背轉ヲ行フ

「後」ハ「正面」ノ令ニテ第二第三小隊長ハ其小隊第一伍ノ後ニ退
キ又嚮導ハ其小隊長ノ後ニ就キ以テ押伍列ヲ通過セシム其後運

動了レハ各官ハ其定位ニ就ク即チ小隊長ハ新前列ノ右翼ニ就キ
嚮導ハ其後ニ就ク

中隊長單ニ「廻レ」右ノ令ヲ下シタルキハ各嚮導ハ押伍列ノ整頓
線ニ就キ又各小隊長ハ新前列ニ就ク

整頓

第百五條 中隊横隊ニ在ルキ整頓ヲ行ハシメント欲スレハ

中隊長ハ整頓セシムヘキ方ニ到リテ其側面ニ立チ左ノ令ヲ下ス

一 嚮導

二 線スチハ

中隊教練

各嚮導及ヒ給養掛ハ三步前進シテ中隊長ノ方ニ面ス中隊長ハ之ヲ其撰定シタル線上ニ置ク此時各嚮導ハ其小隊ノ右ヲ置クヘキ點ニ占位シ又給養掛ハ中隊ノ左ヲ置クヘキ點ニ占位ス各小隊長ハ整頓スヘキ方ニ在ラサレハ直ニ此方ニ移ル次ニ中隊長左ノ令ヲ下ス

一 右(左)へ

二 準へ

各小隊ハ既ニ説示セル要領ニ從テ整頓シ中隊ノ右ニ在ル兵卒ハ其胸ヲ嚮導ノ右(左)臂ニ接シ左ニ在ル兵卒モ亦其胸ヲ給養掛ノ

右(左)臂ニ接ス各小隊長ハ此二兵卒ヲ基準トシテ其小隊ノ整頓ヲ正ス

整頓了レハ中隊長左ノ令ヲ下ス

直レ

各小隊長、嚮導及ヒ給養掛ハ皆其定位ニ復ス

列ノ開閉

第百六條

列ヲ開クニハ中隊長左ノ令ヲ下ス

一 後列開ケ

二 進メ

「後列開ケ」ノ令ニテ各嚮導ハ前列ヨリ四步(約二米)ノ所ニ退ク亦給養掛モ前列ノ左ヨリ同距離ヲ取ル爰ニ於テ中隊長ハ其整頓ヲ正ス

「進メ」ノ令ニテ中隊ハ第八十九條ニ於テ小隊ノ爲メニ說示セル運動ヲ行ヒ各小隊長ハ其儘小隊ノ右ニ止マル後列ノ整頓了レハ中隊長左ノ令ヲ下ス

直レ

給養掛ハ定位ニ復シ各嚮導ハ後列ニ止マル

第一百七條 中隊ハ小隊ノ爲メニ說示セル要領ニ從テ其列ヲ

閉ツ

前面及ヒ背面ニ於ケル正面行進、駐立、斜行進、方向變換

第一百八條 中隊横隊ニテ靜止ニ在ルキ中隊長之ヲ前進セシ

メント欲スレハ先ツ給養掛ヲ前列ノ左ニ就カシメ而シテ第一小隊ノ嚮導或ハ給養掛ノ後方約十五步ノ所ニ到リ高聲ニテ方向點ヲ指示シ次ニ左ノ令ヲ下ス

一 前へ

二 嚮導右(左)

中隊教練

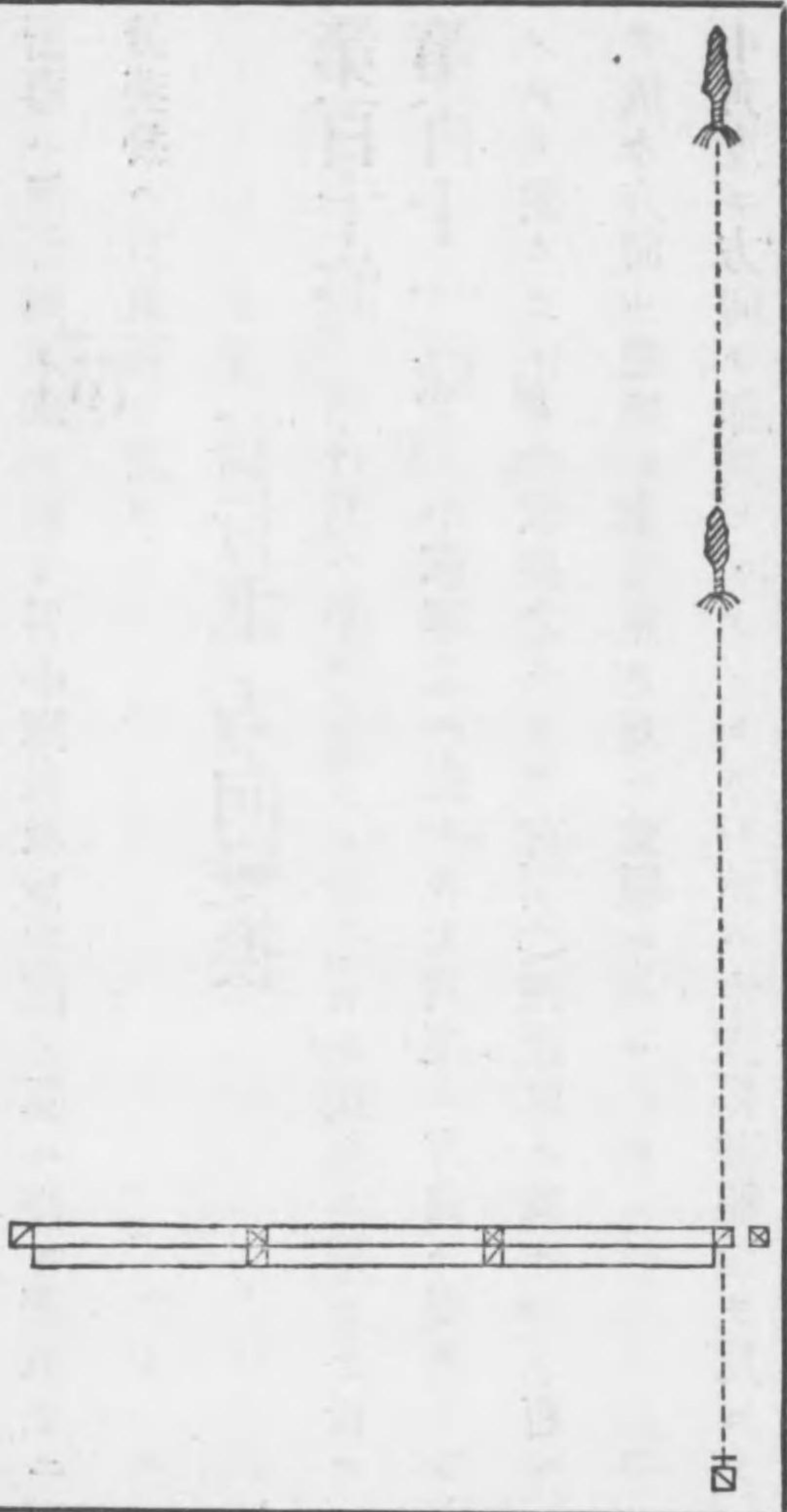
三 進メ

「嚮導右(左)」ノ令ニテ各小隊長ハ其小隊ノ右(左)ニアラサレハ直ニ此方ニ到リ又第一(第三)小隊長ハ前列ニ出テタル嚮導(給養掛)ノ外方ニ歩ノ所ニ占位ス嚮導(給養掛)ハ第九十三條ニ記載スル規則ニ遵フヘシ

「進メ」ノ令ニテ活潑ニ行進ヲ起シ嚮導(給養掛)ハ示サレタル點ニ向テ行進ス又各小隊長ハ其小隊ヲシテ常ニ右(左)小隊ト齊頭ニ在ラシメ各兵卒ハ嚮導(給養掛)ノ方ニ整頓シ且ツ此方ヨリ間隔ヲ取ルヘシ

第百九條

中隊ハ同上ノ要領ニ從テ背面行進ヲ行フ又前面



中隊教練

百二
行進ヨリ駐立スルヲナクシテ背面行進ニ移ルキハ中央ニ在ル嚮導ハ押伍列ノ線ニ就キ各小隊長及ヒ中隊ノ翼ニ在ル嚮導並ニ給養掛ハ新前列ニ就ク

斜行進、方向變換

第一百十條 斜行進ハ小隊ノ爲メニ說示セル規則ニ遵フテ行フ
第一百一條 中隊靜止ニ在ルキ大角度ニ方向ヲ變換セシメント欲スルキハ中隊長之ヲシテ右(左)側面向ヲ爲サジメ而シテ伍々方向ヲ變換シ支撐點ノ方ニ整頓セシムヘシ
小角度ニ方向ヲ變換セシメントスルキハ中隊長整頓法ヲ用ヒテ

新正面ニ就カシムヘシ
行進スル中隊ノ方向變換ハ第九十九條ニ於テ小隊ノ爲メニ說示セル要領ニ從ヒ中隊ノ正面ニ就テ之ヲ行フ

駐立

第一百十二條 中隊ヲ駐立セシムルニハ中隊長左ノ令ヲ下ス

一 中隊

二 止ル

中隊背轉ヲ爲シテ行進シアルキ之ヲ前面ニ向ケテ駐立セシムルニハ左ノ令ヲ下ス

一 廻レ右へ

二 止ル

「直レ」ノ令ニテ給養掛ハ其定位ニ復ス

側面行進、側面行進ニ属スル諸

運動

第一百十三條

中隊ハ小隊ノ爲メニ說示セル要領ニ從ヒ側面行進、伍ノ重複或ハ分解、駐立、正面、伍々方向變換、行進間轉回ヲ行フ

側面行進ヨリ正面行進ニ移ルキ中隊長ハ「進メ」ノ令ヲ下スノ後

「嚮導右(左)」ノ令ヲ下ス然ルキ給養掛ハ速ニ前列ノ右(左)ニ就ク
中隊ニ在テハ二列ヨリ一列ニ及ヒ一列ヨリ二列ニ移ル運動ヲ行フコトナシ

第二教

小隊縦隊

第一百十四條

小隊縦隊ハ小隊ノ正面ニ等シキ距離ヲ存シテ前後ニ重疊スル隊形ナリ

横隊ヨリ小隊縦隊ニ移ル法

第一百十五條

中隊横隊ニテ靜止ニ在ルキ右(左)正面ノ小

隊縱隊ヲ作ルニハ中隊長左ノ令ヲ下ス

一 右(左)へ小隊縱隊

二 進メ

「右(左)へ小隊縱隊」ノ令ニテ各小隊長ハ其小隊ノ中央前三歩ノ所ニ出テ「小隊右(左)へ」ノ令ヲ下ス

「進メ」ノ令ニテ各小隊長ハ恰モ孤立スル如ク右(左)ニ方向ヲ變換ス此時各小隊長ハ旋廻軸ノ方ニ位置シテ其小隊ノ整頓ヲ監視ス運動了レハ中隊長左ノ令ヲ下ス

直レ

此令ニテ小隊長ハ定位ニ到ル

前面及ヒ背面行進

第一百十六條

中隊長縱隊ヲシテ行進ヲ起サシメント欲スルハ各嚮導行進方向ノ方ニ在ラサレハ先ツ之ヲ此方ニ移シ行進方向内ニ於テ充分ニ遠隔シテ且ツ望見シ易キ一點ヲ撰ヒ高聲ニ之ヲ先頭嚮導ニ指示シ然ル後左ノ令ヲ下ス

一 前へ

二 嚮導右(左)

三 進メ

「進メ」ノ令ニテ各小隊ハ活潑ニ行進ヲ起シ第九十三條ニ說示セ
ル要領ニ遵フ第二第三小隊ノ嚮導ハ先頭嚮導ノ足跡ニ隨テ行進
シ之ト同シ歩ヲ踏ミ且ツ常ニ其距離ヲ保存ス

第一百十七條

背面行進ヲ行ハシムルニハ中隊長第八十七
條ニ說示セル號令ヲ下シ先ツ縱隊ヲ背轉セシム此時各小隊長ハ
其小隊ノ右ヲ通過シ押伍列ハ其左ヲ通過シテ新位置ニ就ク又嚮
導ハ新前列ノ右翼ニ就ク

縱隊ハ前面行進ノ爲メニ說示セル要領ニ遵テ行進ス

第一百十八條

縱隊行進ニアルキ中隊長ハ第九十四條ニ於

テ小隊ノ爲メニ說示セル要領ニ遵ヒ之ヲ駐立セシムルヲナク背
轉ヲ行ハシム各小隊長及ヒ押伍列ハ其位置ヲ變スルヲナシ

方向變換

第一百十九條

中隊長方向變換ヲ行ハシメントスルニ當リ
嚮導方向變換ニ反對スル方ニアラサレハ先ツ之ヲ此方ニ移シ然
ル後左ノ令ヲ下ス

右(左)ニ方向^{ムキ}ヲ換ヘ

各小隊ハ示サレタル點ト齊頭ノ所ニ來ルニ應シ恰モ孤立スル如
ク逐次ニ其長ノ號令ヲ以テ方向變換ヲ行フ此時各小隊長ハ其豫

令ヲ下スマヤ直ニ其小隊ニ面シ運動ヲ監シ運動終レハ正面ニ復ス

駐立

第二百二十條

縱隊ヲ駐立セシムルニハ中隊長左ノ令ヲ下

ス

一 中隊

二 止ル

縱隊背面行進ヲナシアルキ之ヲ前面ニ向ケテ駐立セシムルニハ左ノ令ヲ下ス

一 廻レ右へ

二 止ル

側面行進

第二百二十一條

縱隊靜止ニ在ルキ之ニ側面行進ヲ行ハシ

メントスレハ中隊長左ノ令ヲ下ス

一 右(左)向ケ

二 右(左)

三 前へ

四 嚮導左(右)

五 進メ

「右(左)」ノ令ニテ各小隊ハ恰モ孤立シアルキノ如ク右(左)側面ヲナス小隊長及ヒ嚮導ハ第八十五條押伍列ハ第百條ノ位置ヲ占ム

「進メ」ノ令ニテ各小隊同時ニ行進ヲ起シ小隊長ハ其小隊ヲシテ嚮導ノ方ヨリ正シキ間隔ヲ保テ行進セシム

第二百二十二條 縱隊行進ニ在ルキモ前條ノ要領ニ準フヘ

シト雖モ中隊長ハ左ノ令ヲ下スモノトス

- 一 右(左)向ケ前へ
- 二 進メ

三 嚮導左(右)

第二百二十三條 側面行進ニ在ル縦隊ヲ正面ニ復スルニハ

中隊長左ノ令ヲ下ス

- 一 中隊
- 二 止ル
- 三 左(右)へ
- 四 正面

小隊縦隊ヨリ横隊及ヒ側面隊形ニ移ル法

第二百二十四條 小隊縦隊ニ在ルキ之ヲ左(右)正面ノ横隊

ニ作ルノ運動ハ静止ニ在ル時ノミ行フモノトス

中隊長必要ナリト思料スレハ中隊ヲシテ支撐點ノ方ニ整頓セシメタル後左ノ令ヲ下ス

- 一 左(右)横隊
- 二 進メ

「左(右)横隊」ノ令ニテ各小隊長ハ「小隊左(右)へ」ノ令ヲ下ス

「進メ」ノ令ニテ各小隊ハ恰モ孤立スル如ク左(右)ニ方向ヲ變換ス各小隊長ハ前列ノ左(右)ニ位置シ嚮導ハ最初占位シタル翼ニ

位置シ要スルキハ後列ニ退ク又各小隊ハ其小隊長ノ方ニ整頓ス

ヘシ

運動了レハ中隊長左ノ令ヲ下ス

直レ

第二百二十五條 小隊縦隊ニテ行進シ在ルキ之ヲシテ同方

向ニ側面隊形ヲ作ラシムルニハ中隊長左ノ令ヲ下ス

- 一 右(左)向ケ
- 二 伍々左(右)へ
- 三 進メ

「進メ」ノ令ニテ小隊ハ右(左)向ヲナシ各小隊ノ先頭伍ハ直チニ左(右)ニ方向ヲ變換シ其他ノ各伍ハ第一伍ト同シ所ニ來リテ逐次ニ方向ヲ變換ス而シテ第二第三小隊長ハ其隊ヲシテ直ニ先行小隊ニ續カシムル如ク行進方向ヲ指揮スヘシ

第三教

途上縦隊

第二百二十六條 中隊ハ通常四列側面ニテ道路ノ右側ヲ行進ス然レモ若シ此隊形ヲ採用スル能ハサルキハ重複シタル各列ヲシテ各々道路ノ一側ヨリ行進セシムルヲ得但シ何レノ場合ニ

於テモ道路ノ一半或ハ其中央部ハ必ス常ニ開通シ置クヲ緊要トス

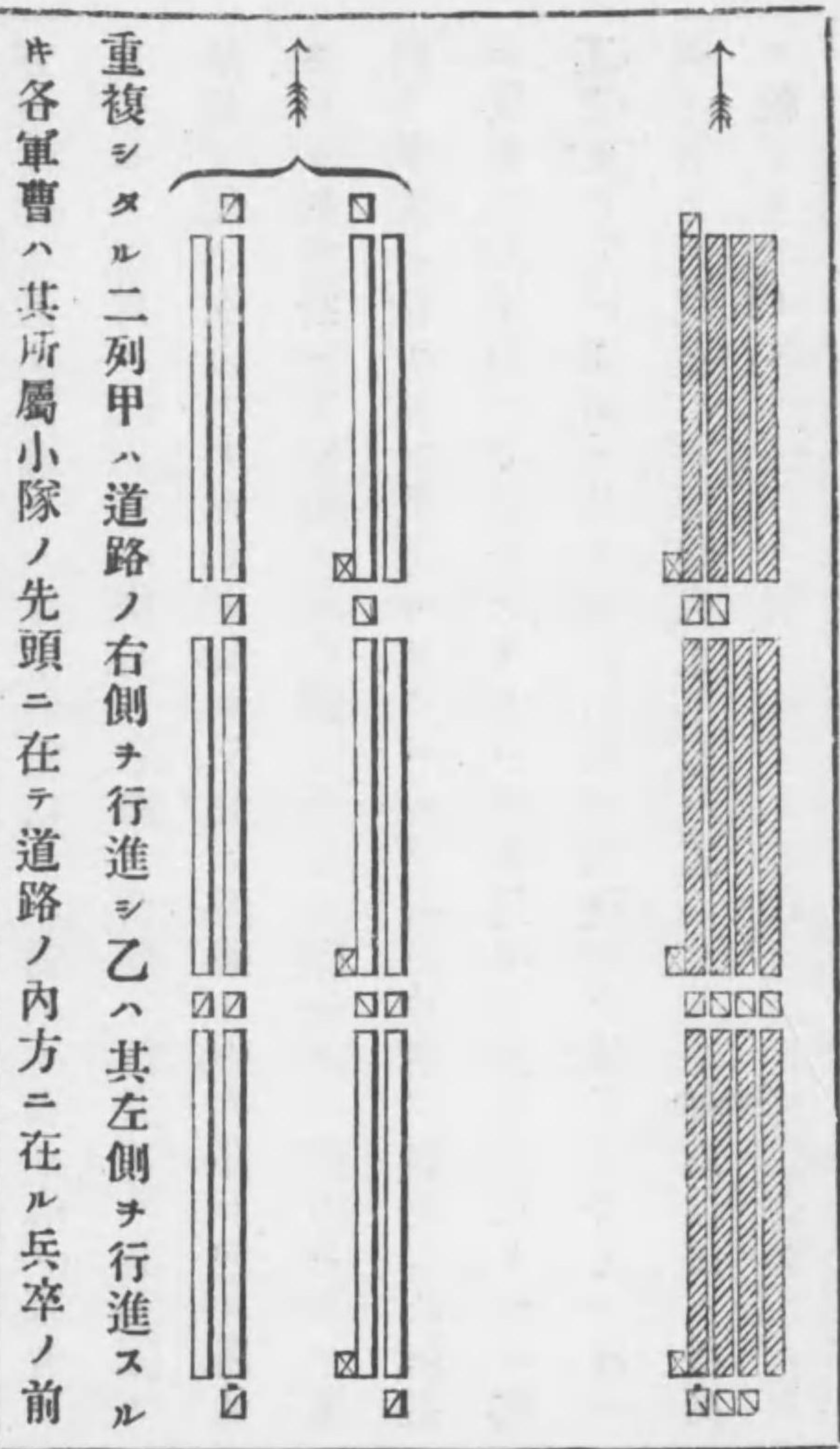
第二百二十七條

中隊長ハ「休メ」ノ令ヲ下シ中隊ヲシテ途

歩^{フシ}行進ヲ起サシム
各兵卒ハ途步ニテ行進ヲ起シ步調ハ一樣ニスルヲ要セス又行進中沈黙スルヲモ要セサルナリ先頭ノ伍ハ十一乃至十二分時ニ一^キ千米ヲ經過シ得ル如ク其步ノ速ヲ定メ而シテ上途ノ初メニ在テハ常ニ步度ヲ節制シ其後漸々之ヲ速メテ遂ニ終始平等ナルニ至ルヘシ

第二百二十八條

中隊四列ニテ行進スルハ各嚮導ハ其小隊ノ先頭ニ在テ道側ノ開通シタル方ナル兵卒ノ前方ニ位置シテ行進シ各小隊長モ亦同側方ニ於テ其小隊ノ最後ノ伍ノ外方之ト齊頭ニ位置シ曹長ハ中隊ノ後尾ニ在テ道側ノ開通シタル方ナル兵卒ノ後方ニ位置シ嚮導タラサル軍曹ハ其小隊ノ後尾ニ在テ次ノ小隊ノ嚮導或ハ中隊ノ曹長ノ右方ニ位置ス給養掛ハ其附屬スル小隊ノ後尾ニ在テ嚮導タラサル軍曹ノ右ニ位置ス又火工下長ハ第二小隊ノ後尾ニテ嚮導タラサル軍曹ノ右ニ位置シ武器掛ハ火工下長ノ右ニ位置ス



重複シタル二列甲ハ道路ノ右側ヲ行進シ乙ハ其左側ヲ行進スル
 各軍曹ハ其所屬小隊ノ先頭ニ在テ道路ノ内方ニ在ル兵卒ノ前

百二十
方ニ位置ス但シ嚮導タル軍曹ハ重複セル前列ニ就キ他ノ軍曹ハ
重複セル後列ニ就ク各小隊長ハ道路ノ右側ヲ行進スル其小隊ノ
最後ノ伍ノ左方之ト齊頭ノ所ニ位置シ道路ノ中央部ハ常ニ開通
スヘシ給養掛ハ其附屬スル小隊ノ後尾小隊長ト同側方ニシテ道
路ノ外方ニ在ル列ノ後方ニ就クヘシ曹長ハ中隊ノ後尾、小隊長
ニ反對スル道側ニテ道路ノ内方ニ在ル兵卒ノ後尾ニ就クヘシ火
工下長及ヒ武器掛ハ共ニ第二小隊ノ後尾ニテ道路ノ外方ニ在ル
列ノ後方ニ就クヘシ此時火工下長ハ重複セル前列武器掛ハ後列
ニ就クモノトス

中隊長ハ其中隊ノ先頭ニ就クヲ常トス然レモ又屢、中隊ノ後尾
ニ到リ行進、服裝、順序、軍紀ヲ仔細ニ監視スルコトアリ

第二百二十九條

中隊ヲシテ再ヒ早步行進ニ復セシムルニ
ハ中隊長「氣ヲ着ケ」ノ令ヲ下ス此令ニテ各兵卒ハ再ヒ早歩ニ復
シ各幹部ハ其定位ニ後ス

第二百三十條

道路ノ幅益々狭小トナリ中隊四列ノ側面行進
ヲ行フ能ハサレハ各小隊逐次ニ其伍ヲ分解シ要スルキハ一列ト
ナリテ行進スヘシ此時各伍或ハ各兵ハ成ルヘク距離ヲ密縮シテ
行進スルヲ要ス

隘路ノ幅二人或ハ四人ニテ行進シ得ルニ至レハ中隊ハ逐次ニ二列或ハ四列ニ復ス時宜ニヨリテハ隘路ノ外方ニ於テ中隊ヲ容ル、ニ充分ノ距離ヲ存シテ先頭ヲ駐立セシメ各伍ハ其距離ヲ閉縮ス中隊長ハ最後ノ一伍隘路ヲ通過シ了ルヲ見テ之ヲ駐立セシメサル如ク行進ヲ再始セシムヘシ

第三部

徒歩中隊聯合教練

總則

第三百三十一條

此教練ノ目的ハ中隊ヲ聯合シテ運動スルノ法ヲ教授スルニ在リ

運動間各中隊ニ番號ヲ附スルヲ猶第二部總則ニ於テ中隊ノ各小隊ノ爲メニ說示セルカ如シ

各中隊内ニ於テスル諸運動ハ第二部ニ說示セル號令ト要領トニ遵テ之ヲ施行スヘシ

演習ニ於テ聯隊長ハ定位ナシ唯運動施行ノ總体ヲ監視スルニ最モ適宜ナリト判斷スル地點ニ位置スルヲ要ス

此教練ハ六中隊ヨリ成ル一聯隊ノ爲メニ設定スト雖モ二或ハ三中隊ヲ合シタル隊ニモ亦適用スルヲ得然ルモ「聯隊」ノ令詞ヲ「大隊」ニ代フヘシ

第二百二十二條 聯隊長ハ常ニ音聲ヲ用ヒテ其聯隊ヲ指揮スヘシ

整頓ヲ除クノ外聯隊長ノ下ス號令ハ大隊長之ヲ復令ス然レモ逐次ニ行フ運動ニ在テハ其大隊ノ運動ヲ行フヘキ順序ノ來ルヲ待

テ復令ス

大隊長ノ復令スル豫令ハ特ニ記載スルモノニ非レハ各中隊長之ヲ復令セズ要スルモ其部下ヲシテ所要ノ準備運動ヲ行ハシム

大隊長ノ下ス「進メ」及ヒ「止ル」ノ令ハ中隊長常ニ之ヲ復令スヘキモノトス

中隊長其中隊ニ號令ヲ下スニハ部下ヲシテ普ク之ヲ聴取セシムル爲メ常ニ之ニ面スヘシ

第二百二十三條 一運動ヲ行フタル後駐立スル毎ニ各中隊

長ハ「直レ」ノ令ヲ下ス此令ニテ各小隊長及ヒ各嚮導ハ定位ニ復ス

運動ヲ行フニ驅歩ヲ以テスルハ例外ノ事トス然レモ各幹部及ヒ喇叭手ノ其位置ヲ變換スルニ當テハ必ス駈歩ヲ以テスヘシ

第一教

横隊々形(第一圖)

第二百二十四條 此隊形ニ於テ各大隊ハ互ニ三十歩ノ間隔ヲ存シテ建制順序ニ於ケル番號ニ從テ右ヨリ左ニ同一線上ニ並列ス

各大隊ノ諸中隊ハ中隊教練ニ記スル如ク横隊ニ編成シ互ニ六歩ノ間隔ヲ存シテ左右ニ並列シ列外ハ第三大隊ノ左方六歩ノ所ニ位置ス
列外トハ隊列ニ加ハラサル將校、同相等官、下士卒及ヒ諸職工ノ集團ナリ

聯隊長、大隊長及ヒ副官ハ乘馬スルヲ一般トス然レモ徒歩スルモ亦妨ナシ

聯隊長ハ演習ノ間一定ノ位置ナシト雖モ制規ノ隊形ニ於テハ聯隊ノ中央後押伍列ヨリ六十歩ノ所ニ位置シ其後方ニ聯隊副官ヲ

從フ

各大隊長ハ其大隊ノ中央後ニ於テ押伍列ヨリ四十歩ノ所ニ位置ス

中隊長ハ中隊ノ右翼ニ於テ小隊長ヨリ二歩ノ所ニ位置ス

各大隊ノ副官ハ其大隊ノ第一中隊ノ中央後押伍列ヨリ二十歩ノ所ニ位置ス

聯隊下副官ハ聯隊ノ左翼後押伍列ヨリ十歩ノ所ニアリ

喇叭手ハ二列ニ編成シ聯隊ノ中央後押伍列ヨリ二十歩ノ所ニ位置シ高級ノ喇叭手ハ喇叭手ノ中央前三歩ノ所ニ位置シ次級ノ喇

叭長ハ其右翼第一列ニ就ク

背轉

第二百二十五條 聯隊橫隊ニ在ルキ聯隊長之ヲ背轉セシメ

ント欲スレハ左ノ令ヲ下ス

後^{ウシロ}へ正面

各中隊長ハ第二部ニ説示セル要領ト號令トヲ用ヒ此運動ヲ行ハシム

各中隊長ハ其中隊ノ右翼ナル新位置ニ到ル

副官、下副官、喇叭手ハ速ニ其新位置ニ就ク但シ其新位置ニ到ル

ニ副官ハ其大隊ノ右翼ヲ通過シ下副官ハ聯隊ノ左翼ヲ通過シ又
喇叭手ハ最近ナル中隊ト中隊トノ間隔ヲ通過ス
聯隊長押伍列ヲ移動スルヲナク聯隊ヲシテ背轉セシメント欲ス
ルキハ左ノ令ヲ下ス

廻レ右へ

各中隊ハ第二部ニ示セル要領ニ從ヒ其長ノ號令ヲ以テ此運動ヲ
行フ此時大隊長、中隊長、副官、下副官及ヒ喇叭手ハ其位置ニ在
テ背轉チナス

整頓

第二百二十六條

横隊ニ在ルキ聯隊長之ヲシテ正シク整頓
セシメント欲スルキハ先ツ聯隊ノ一翼ニ到リテ整頓線ヲ定メ
(要スルキハ聯隊長聯隊ヲシテ豫メ右方或ハ左方ニ轉移セシム)
次ニ左ノ令ヲ下ス

一 中央兩翼ノ嚮導

二 線スベへ

「線へ」ノ令ニテ第一中隊第一小隊ノ嚮導ト最尾中隊ノ給養掛ト
中央ノ嚮導(中隊ノ數奇數ナレハ中央中隊第一小隊ノ嚮導)ハ正
面前ニ出テ聯隊長ニ面ス聯隊長ハ刀ヲ以テ指揮シ速ニ之ヲ撰定

シタル方向内ニ位置セシム

聯隊ノ右(左)ニ在ル嚮導(給養掛)ハ整頓了リタル後大隊ノ右(左)翼ノ就クヘキ點ニ正シク位置ス他ノ嚮導ハ其正面ニ在ル嚮導或ハ給養掛ノ後方ニ於テ正シク距離ヲ取テ立ツ此配備了リタル後聯隊長左ノ令ヲ下ス

一 嚮導

二 線スヂハ

「線ハ」ノ令ニテ中央兩翼ノ嚮導ハ右手ヲ高ク頭上ニ舉ク(拔刀シ在ルキハ捧刀ヲ爲ス)各小隊ノ嚮導及ヒ各中隊ノ給養掛ハ整

頓線ニ出テ中央嚮導ノ方ニ面シ且ツ其前面ニ正シキ距離ヲ取テ立ツ各小隊長ハ中央ノ方ニ在ラサレハ速ニ此方ニ到リ其小隊ノ右(左)翼第一列ニ就ク又各中隊長ハ其中隊ノ正面前ニ出テ之ニ面シテ立ツ

聯隊副官ハ聯隊ノ一翼ヨリ少シク離レタル所ニ位置シ速ニ嚮導ノ位置ヲ檢査ス

次ニ聯隊長左ノ令ヲ下ス

準ハ

「準ハ」ノ令ニテ中央及ヒ兩翼ノ嚮導ハ右手ヲ下ス(肩刀ヲ爲ス)

各中隊ハ第二部ニ説示セル要領ニ從ヒ中央嚮導ヨリ右方ニアル中隊ハ左方ヘ又之ヨリ左方ニアル中隊ハ右方ヘ整頓ス而シテ各中隊長ハ其中隊ノ整頓シ了ルヲ見レハ「直レ」ノ令ヲ下ス次ニ聯隊長左ノ令ヲ下ス

一 嚮導

二 故^{モト}ヘ

「故ヘ」ノ令ニテ各官ハ直ニ横隊ニ於ケル定位ニ就ク

總テ頓整ヲ行フニ方テハ聯隊副官ハ押伍列ノ整頓ヲ正スヘシ

列ノ開閉

第三百二十七條

聯隊長左ノ令ヲ下ス

一 後列開ケ

二 進メ

「後列開ケ」ノ令ニテ各小隊ノ嚮導及ヒ各中隊ノ給養掛ハ第一列ヨリ四步(約三米)ノ所ニ退ク下副官ハ右手ヲ頭上ニ上ケ(捧刀ヲ爲シ)テ駐立セル左翼中隊ノ給養掛ヲ整頓線上ニ置キ聯隊副官ハ此下士ニ準テ他ノ諸嚮導及ヒ諸給養掛ノ整頓ヲ正ス

「進メ」ノ令ニテ各中隊ハ第二部ニ説示セル如ク運動ス

第三百二十八條

聯隊ハ第二部ニ説示セル號令ト方法トニ

遵テ其列ヲ閉ツ

横隊ノ行進及ヒ駐立

第二百二十九條

例外ノ場合ニ於テ聯隊横隊ヲ以テ行進ス

ヘキトハ聯隊長中央嚮導(中央中隊ノ第一小隊ノ嚮導)ノ後方三

四十歩ノ所ニ到リ行進方向ヲ定メ左ノ令ヲ下ス

一 前へ

二 進メ

「前へ」ノ令ニテ各中隊長行進方向ノ方ニアラサレハ直ニ此方ニ
移リ且ツ其嚮導モ此方ニ置クヘシ

「進メ」ノ令ニテ各中隊ハ活潑ニ行進ヲ起ス

又各中隊ハ外翼ノ方ヨリ來ル壓迫ニ抵抗スヘシ各中隊間ニ在ル

六歩ノ間隔ハ時宜ニヨリ之ヲ開閉スルモ妨ナシ

都テ此種ノ行進ヲ行フニ當リ各中隊内ニ於ケル整頓ハ常ニ維持

スルヲ要スト雖モ嚴確ナル一般ノ整頓ハ強テ之ヲ要求ス可ラス

第四百十條

横隊ニテ行進スルキ之ヲ駐立セシムルニハ

聯隊長左ノ令ヲ下ス

一 聯隊

二 止ル

側面行進

第四百四十一條

聯隊横隊ニ在ルキ聯隊長左ノ令ヲ下ス

一 右(左)向ケ

二 前へ

三 進メ

「右(左)向ケ」ノ令ニテ各中隊長ハ其中隊ヲシテ右(左)向ヲ爲サシム

「進メ」ノ令ニテ聯隊ハ行進ヲ起ス各中隊ハ第二部ニ於テ側面行進ノ爲メニ説示セル要領ニ遵フ

伍々方向變換

第四百四十二條

側面行進ニ在ル時伍々方向變換ヲ行ハシムルニハ聯隊長此運動ヲ行フヘキ點ニテ前列ノ方ニ一名ノ標兵ヲ置キ左ノ令ヲ下ス

右(左)ニ方向^{ムキ}ヲ換ヘ

各中隊長ハ其中隊ノ先頭方向變換ヲ行フヘキ點ニ到リタル時「伍々左(右)へ」「進メ」ノ令ヲ下ス

駐立

第四百四十三條

側面行進ヲ行フ聯隊ヲ駐立セシメテ正面

ニ復セシムルニハ聯隊長左ノ令ヲ下ス

一 聯隊

二 止ル

三 左(右)へ

四 正面

第二教

小隊縦隊々形(第二圖)

第四百四十四條

小隊縦隊ノ隊形ニ於テ各中隊ハ小隊縦隊ト爲リ互ニ小隊面ニ六步ヲ加ヘタル距離ヲ取リテ前後ニ重疊

シ各大隊ノ間ニ存スル距離ハ小隊面ニ三十步ヲ加ヘタルモノトス

聯隊長ハ其後方五步ノ所ニ聯隊副官ヲ從ヘ第一中隊ノ前方二十七步ノ所ニ位置ス

大隊長ハ其大隊ノ先頭部隊ノ中央前十二步ニ位置ス

大隊副官ハ其大隊長ノ左方四步ノ所ニ位置ス

中隊長ハ其中隊ノ先頭小隊ノ中央前六步ノ所ニ位置ス

下副官ハ高級喇叭長ノ前方二步ノ所ニ位置ス

喇叭手ハ聯隊ノ先頭ニテ聯隊長ノ前方十五步ニ位置ス

列外ハ聯隊ノ最後部隊ノ後方ニ位置ス

横隊ヨリ小隊縦隊ニ移ル法

第四百四十五條 横隊ヨリ右(左)正面ノ小隊縦隊ニ移ルニ

ハ聯隊長左ノ令ヲ下ス

一 右(左)へ小隊縦隊

二 進メ

「右(左)へ小隊縦隊」ノ令ニテ各中隊長ハ之ヲ復令ス各中隊ノ各小隊長ハ第四百十三條ニ説示セル要領ニ準フヘシ

「進メ」ノ令ニテ各中隊ハ第四百十三條ニ説示セル要領ニ遵ヒ右

(左)正面ノ小隊縦隊ヲ作ル

大隊長、中隊長、大隊副官及ヒ喇叭手ハ定位ニ到ル

背轉

第四百四十六條 小隊縦隊ニ在ルキ之ヲシテ背轉セシムル

ニハ聯隊長第四百二十三條ニ説示セル號令ヲ下スヘシ

各中隊ハ恰モ孤立シアル如ク各其長ノ號令ニ從テ此運動ヲ行フ
聯隊長「後へ正面」ノ令ヲ下シタルキハ各大隊長、中隊長、副官、喇叭手ハ第四百四十二條ニ説示セル位置ニ就ク若シ聯隊長「廻レ右へ」ノ令ヲ下シタルキハ各大隊長、中隊長、副官、下副官、喇叭

手等ハ其位置ヲ變スルコトナシ

行進、駐立

第四百四十七條

縱隊ニ在ルキ聯隊長ハ高聲ニテ先頭嚮導

ニ行進方向ヲ指示ス此嚮導ハ第二部ニ説示セル要領ニ遵テ其行

進方向ヲ定ムヘシ

次ニ聯隊長左ノ令ヲ下ス

- 一 前へ
- 二 嚮導右(左)
- 三 進メ

「進メ」ノ令ニテ縱隊ハ活潑ニ行進ヲ起ス各嚮導ハ第二部ニ於テ

小隊縱隊ノ爲メニ説示セル規則ニ遵ヒ又各中隊長ハ距離ノ保存

ヲ監視スヘシ

聯隊長ハ躬カラ先頭嚮導ノ行進ヲ監視スルカ或ハ副官ヲシテ之

ヲ監視セシム

第四百四十八條

行進セル縱隊ヲ駐立セシムルニハ聯隊長

左ノ令ヲ下ス

- 一 聯隊
- 二 止ル

聯合教練

第四百四十九條

聯隊長各嚮導ノ方向ヲ改正スルヲ必要ナ
リト認ムルキハ先ツ縱隊先頭ノ二嚮導ヲ其撰定シタル方向内ニ
置キ次ニ左ノ令ヲ下ス

一 嚮導

二 線スデへ

「線へ」ノ令ニテ後方ノ諸嚮導ハ正シク其距離ヲ取リテ速ニ先頭
ニ嚮導ノ方向内ニ移ル聯隊副官ハ各嚮導ニ面シテ立チ要スルキ
ハ其位置ヲ改正シテ聯隊長ノ撰定シタル方向内ニ移ラシム其後
聯隊長左ノ令ヲ下ス

一 右(左)へ

二 準へ

第四百五十條

背面ニ在ル聯隊ハ前面向ニ在ル聯隊ト同規
則ニ遵テ行進シ及ヒ駐立ス

方向變換

第四百五十一條

小隊縱隊ニ在テ行進セルキ之ヲシテ方向
ヲ變換セシメント欲スレハ聯隊長ハ先ツ方向變換ヲ行フヘキ點
ニ標兵ヲ置キ聯隊此點ニ達スルニ先テ左ノ令ヲ下ス

右(左)ニ方向ムキヲ換へ

各中隊長ハ其中隊標兵ト齊頭ノ所ニ到ラサル前其嚮導ヲ方向變換ニ反スル翼ニ移シ然ル後「右(左)ニ方向ヲ換ヘ」ノ令ヲ下ス各小隊ハ第二部ニ説示セル要領ニ遵ヒ逐次ニ同點ニ來リテ方向變換ヲ行フ

側面行進

第一百五十一條 聯隊長ハ第二百一十一條ニ記スルト同號令同要領ニ從ヒ縱隊ニ側面行進ヲ行ハシムルコトヲ得然ルハ大隊長、中隊長及ヒ副官等ハ其儘右(左)轉回ヲ行フ
側面行進ニ在ル聯隊ヲシテ正面ニ復セシムルニハ聯隊長左ノ令

ヲ以テス

- 一 聯隊
- 二 止ル
- 三 左(右)へ
- 四 正面

小隊縱隊ヨリ横隊ニ移ル法

第一百五十三條 小隊縱隊ヨリ左(右)正面ノ横隊ニ移ルニ聯隊長必要ナリト思料スレハ支撐點ノ方ニ整頓セシメタル後左ノ令ヲ下ス

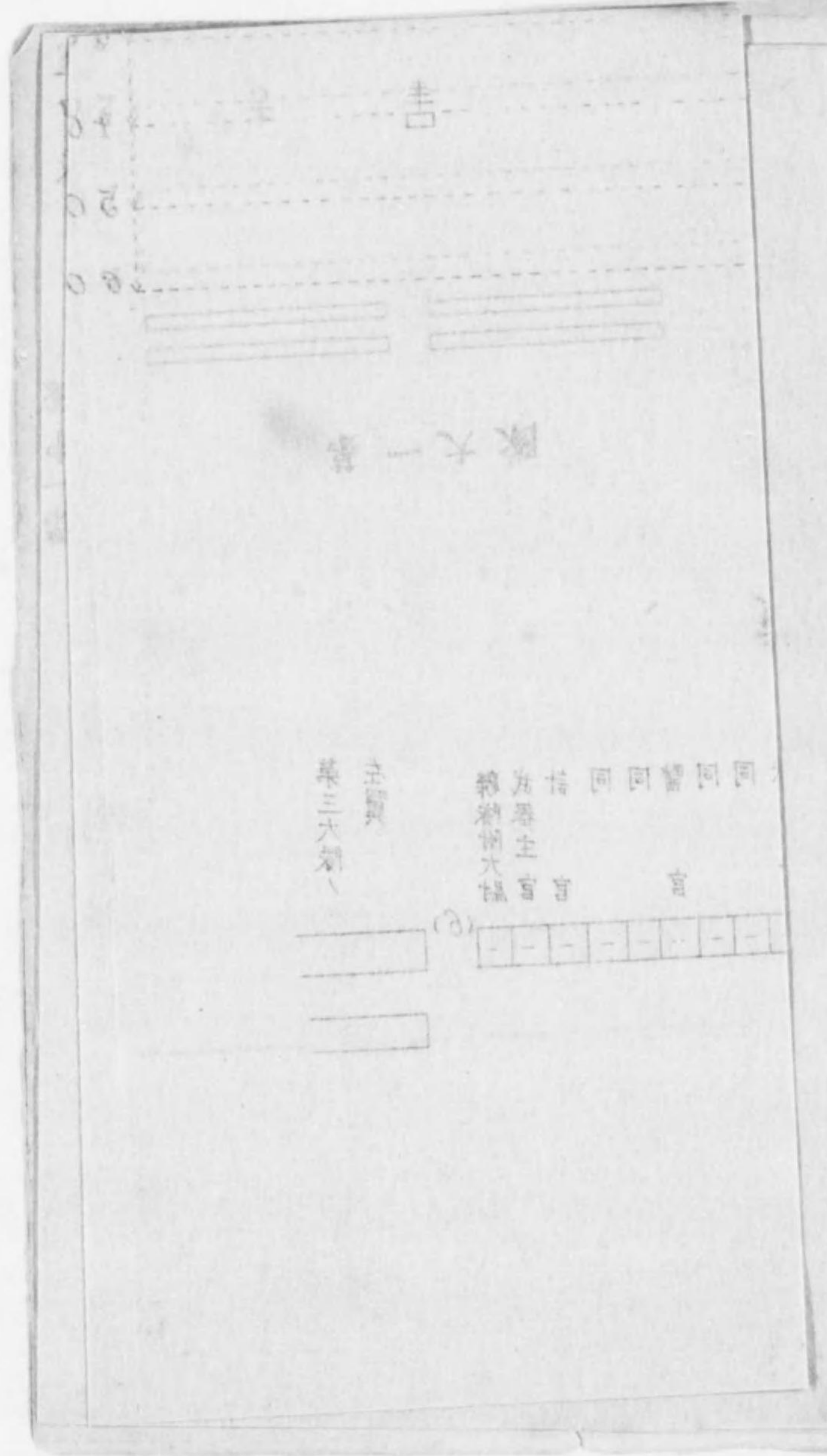
一 左(右)横隊

二 進メ

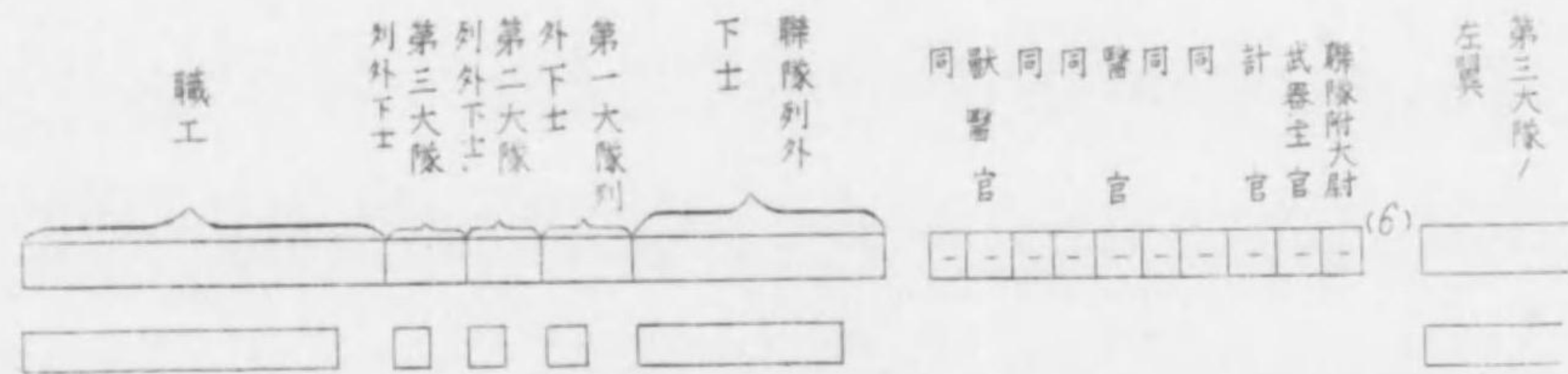
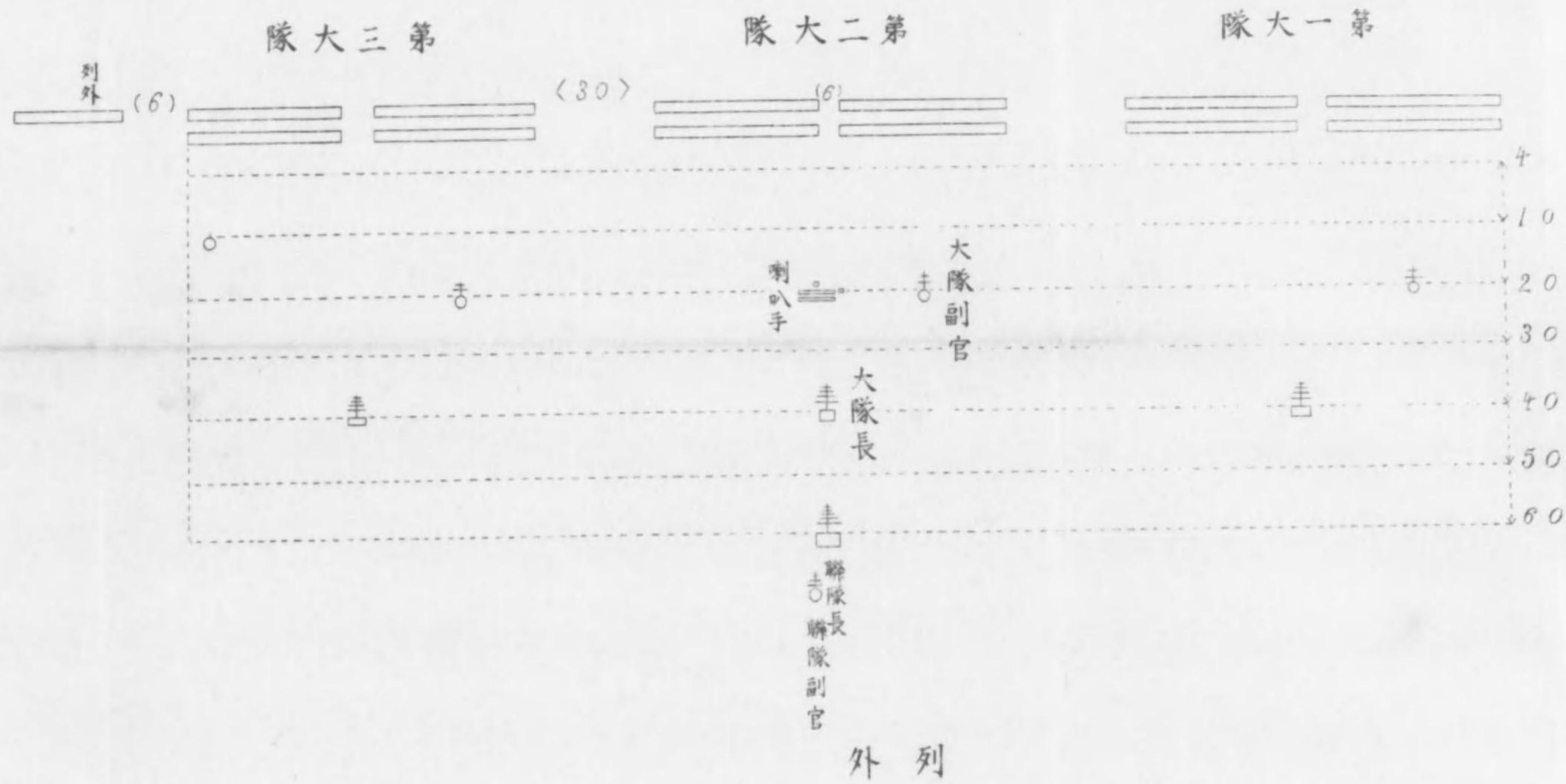
「左(右)横隊」ノ令ニテ各中隊長ハ之ヲ復令ス又各小隊長ハ第百二十四條ニ説示セル規則ニ遵フヘシ

「進メ」ノ令ニテ各中隊長ハ第百二十四條ニ説示セル要領ニ遵ヒ左(右)正面ノ横隊ヲ作ル

大隊長、中隊長、大隊副官及ヒ喇叭手ハ定位ニ到ル



横隊ニ在ル聯隊



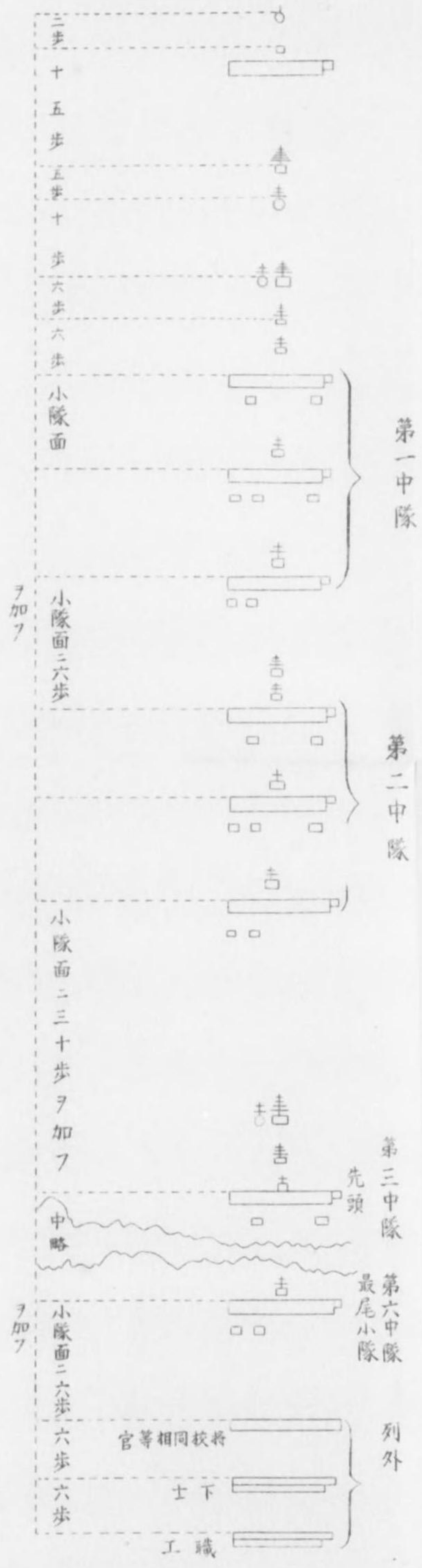
徒歩教練未一

「進メ」ノ令ニテ各中隊ハ第二百二十四條ニ説示セル要領ニ遵ヒ左
 (右)正面ノ横隊ヲ作ル
 大隊長、中隊長、大隊副官及ヒ喇叭手ハ定位ニ到ル



第二圖

小隊縱隊ニ在ル聯隊



徒歩 末二

陸軍省印刷御用

東京府平民

明治廿二年九月廿六日印刷

發行者兼

小林 又七

明治廿二年九月廿六日出版

印刷人

京橋區五郎兵衛町
二十一番地

終

